

|                   |       |                |                                  |             |
|-------------------|-------|----------------|----------------------------------|-------------|
| 評価対象年度            | 令和1年度 | 政策評価シート(震災復興用) | 政策                               | 5           |
| 「宮城県震災復興計画」における体系 | 政策名   |                | 5                                | 公共土木施設の早期復旧 |
|                   |       | 政策担当部局         | 震災復興・企画部, 環境生活部, 水産林政部, 土木部, 企業局 |             |
|                   |       | 評価担当部局         | 土木部                              |             |

**政策の状況**

**政策で取り組む内容**

被災した公共土木施設については、復興を支える重要な基盤であることから、各事業主体が一丸となって、着実かつスピーディーな復旧に取り組んでいく。また、県民の命と生活を守り、震災を乗り越え、更なる発展につなげる県土づくりを図るため、道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進、海岸・河川などの県土保全についても取組を進める。

特に、東日本大震災により大きな被害を受けた沿岸地域の復興まちづくりに重点的に取り組むとともに、大津波対策や防災道路ネットワークの構築などにより、内陸部も含めた県土全域で、災害に強いまちづくり宮城モデルの構築を推進する。

**政策を構成する施策の状況**

| 施策番号 | 施策の名称                   | 令和1年度決算(見込)額(千円) | 目標指標等の状況                                | 実績値(指標測定年度)       |     | 達成度     | 施策評価 |
|------|-------------------------|------------------|---|-------------------|-----|---------|------|
|      |                         |                  |   | 実績値               | 達成度 |         |      |
| 1    | 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進 | 139,106,774      | 公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)の完了数(箇所)[累計]         | 1,511箇所(令和元年度)    | B   | 概ね順調    |      |
|      |                         |                  | 主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数(橋)[累計]                | 57橋(令和元年度)        | B   |         |      |
|      |                         |                  | 仙台塩釜港(仙台区)のコンテナ貨物取扱量[実入り](TEU)          | 197,141TEU(令和元年度) | A   |         |      |
| 2    | 海岸、河川などの県土保全            | 115,025,904      | 比較的発生頻度の高い津波に対し、施設の防護機能が確保された海岸数(海岸)    | 45海岸(令和元年度)       | C   | やや遅れている |      |
|      |                         |                  | 比較的発生頻度の高い津波に対し、施設の防護機能が確保された河川数(河川)    | 15河川(令和元年度)       | C   |         |      |
| 3    | 上下水道などのライフラインの整備        | 8,016,716        | 緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率(%)           | 83.8%(令和元年度)      | B   | 概ね順調    |      |
|      |                         |                  | 流域下水道における長寿命化対策設備数(箇所)[累計]              | 25箇所(令和元年度)       | A   |         |      |
| 4    | 沿岸市町をはじめとするまちの再構築       | 57,410,602       | 防災公園事業の完了数(箇所)[累計]                      | 15箇所(令和元年度)       | A   | 概ね順調    |      |
|      |                         |                  | 住宅等建築が可能となった被災市街地復興土地地区画整理事業地区数(地区)[累計] | 34地区(令和元年度)       | B   |         |      |
|      |                         |                  | 住宅等建築が可能となった防災集団移転促進事業地区数(地区)[累計]       | 195地区(令和元年度)      | A   |         |      |

- 達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」
- 達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

| ■ 政策評価（原案）   | 概ね順調 |
|--|------|
| <b>評価の理由・各施策の成果の状況</b>   |      |
| <p>・東日本大震災で被災した沿岸地域の復興まちづくりの早期実現や、県土の更なる発展のため、公共土木施設の着実かつスピーディーな復旧復興事業を4つの施策にまとめ取り組んだ。</p> <p>・施策1「道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進」については、公共土木施設災害復旧事業の達成率は99.1%であり、1,534箇所中、1,511箇所まで完成するなど、復興に向けた施設整備が進捗している。また、仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量が、東日本大震災の影響による大幅な落ち込みから順調に回復し、目標値を上回る結果となっている。また、橋梁の耐震化においては、57橋が完成し90.5%の達成率となっていることから着実に耐震化が進んでいるほか、三陸縦貫自動車道の整備の加速化や防災道路ネットワークを形成する高規格幹線道路の整備が順調であることから、「概ね順調」と評価した。</p> <p>・施策2「海岸、河川などの県土保全」については、海岸・河川ともに全て工事に着手しており、着実に事業の進捗が図られており、令和2年度末までに全ての箇所が完成する見込みであるが、関係機関との調整に不測の時間を要するなどにより、完成途中における目標値は下回ったことから「やや遅れている」と評価した。</p> <p>・施策3「上下水道などのライフラインの整備」については、上下水道処理施設の復旧が完了し、さらに、広域水道の緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業では、志賀姥ヶ懐トンネル内の配管工事や制御室2箇所の築造工事が完了するなど、令和3年度の完了に向け概ね順調であること、また、「流域下水道における長寿命化対策設備数(箇所)」は目標値どおり長寿命化を図ることが出来たことから、「概ね順調」と評価した。</p> <p>・施策4「沿岸市町をはじめとするまちの再構築」については、「防災公園事業の完了数」は目標を達成し、「住宅等建築が可能となった被災市街地復興土地区画整理事業地区数(地区)[累計]」についても、残り1地区を残すのみで、さらには令和2年度中に達成予定であることから、「概ね順調」と評価した。</p> <p>・防災道路ネットワークの形成に向けた高規格幹線道路の整備や、離半島部の孤立解消に向けた災害に強い道路整備として大島架橋の供用開始など、「災害に強いまちづくり宮城モデル」の構築に向けた各事業は順調に推移しており、復興まちづくり事業の促進、交流人口、産業活動における物流等の強化が図られていることから、「公共土木施設の早期復旧」における政策全体としての評価については、施策2「海岸、河川などの県土保全」が「やや遅れている」となっているが、全体的には計画どおりに事業が進捗していることから、「概ね順調」と評価している。</p> |      |

| <b>政策を推進する上での課題と対応方針（原案）</b>   |   |
|--|---|
| 課題   | 対応方針  |
| <p>・道路・橋梁の災害復旧については、他事業との調整等が必要となることから、隘路となっている事業との調整を進める必要がある。</p> <p>・河川・海岸の災害復旧については、地元住民との合意形成、数次相続などの用地隘路案件に係る土地収用へ向けた事業認定手続きなどにより、一部事業に遅れが生じていることから、適正な進行管理が必要となっている。</p> <p>・復興まちづくりの進捗状況に格差が生じており、人口流出の抑止や安定した雇用の創出など、進捗状況によって各市町が抱える課題が異なっている状況にあり、持続可能なまちづくりに向けて、各市町が抱える課題に対応した支援が必要となっている。</p> <p>・被災市街地復興土地区画整理事業等については、マンパワー不足などから、地区間での進捗状況の格差が生じているほか、防集移転元地が利活用可能となる事業促進のための市町支援が必要となっている。</p> <p>・被災沿岸地域の新たなまちでの生活を支える公共交通の維持、利用者の利便性に向けた取組が必要となっている。</p> | <p>・事業の進行管理については、「契約ベースの事業進行管理」を実施するとともに工事履行報告書を活用した「工事進捗状況管理シート」に基づき、重点的な進行管理を実施する。加えて、令和2年度事業完成見込み、地元未合意、全部中止工事等の重点的な進行管理が必要な事業については、担当次長を筆頭とした「重点進行管理部会」により、進捗の遅れの要因に対する対応方針(時間軸も含めて)を協議し事業進捗を図っていく。</p> <p>・令和2年度での全箇所完了に向けて、各事業毎の進行管理のほか、隘路となる関連事業(市町村事業含む)の状況を整理し、県・市町村一体となった進行管理に努める。</p> <p>・復興まちづくりについては、これまでと同様に各市町ごとの進捗を把握し、課題の抽出、解決に向けた市町職員向けの勉強会、工事着手に向けた調整・発注計画支援、供給開始のための手続きなどとともに、進捗に遅れが生じている地区へは沿岸土木事務所担当職員等による重点的な支援に取り組んでいく。</p> <p>・持続可能なまちづくりに向けて、産業誘導として「復興まちづくり産業用地カルテ」を更新し、企業や支援機関等へ情報提供するなど、市町の取組を支援する。</p> <p>・移転元地の空き区画対策については、「みやぎ移転元地計画策定ガイドライン」(平成28年度末策定)により、各市町の実情にあわせた移転元地の活用を提案するなど支援していく。</p> <p>・国、関係市町村と連携して、新たな公共交通網形成計画の策定を推進するほか、効率的で持続可能な運行形態の構築に向けて、市町村を支援していく。</p> |

|                   |       |                       |                           |                            |              |   |  |
|-------------------|-------|-----------------------|---------------------------|----------------------------|--------------|---|--|
| 評価対象年度            | 令和1年度 | <b>施策評価シート(震災復興用)</b> | 政策                        | 5                          | 施策           | 1 |  |
| 施策名               | 1     |                       | 道路, 港湾, 空港などの交通基盤の確保・整備促進 | 施策担当<br>部局                 | 土木部          |   |  |
| 「宮城県震災復興計画」における体系 | 政策名   | 5                     | 公共土木施設の早期復旧               | 評価担当<br>部局<br>(作成担当<br>課室) | 土木部<br>(道路課) |   |  |
|                   |       | 【公共土木施設】              |                           |                            |              |   |  |

|  |   |
|--|---|
| <b>施策の方向</b><br>(「宮城の将来ビジョン・震災復興・地方創生実施計画」の行動方針) | 1 高規格幹線道路等の整備<br>◇ 復興道路に位置づけられた三陸縦貫自動車道などの整備を促進し、防災道路ネットワークを形成する高規格幹線道路の充実強化を図ります。<br>◇ みやぎ県北高速幹線道路の整備を推進し、東西広域連携軸を強化します。<br>2 主要幹線となる国道、県道の整備及び復興まちづくりと一体となった関連道路の整備<br>◇ 災害に強い幹線道路ネットワークを整備するため、国道108号、国道113号、国道398号等の主要幹線道路の整備を推進します。また、安全な道路利用が図られるよう交通安全施設等の整備や災害防除対策を着実に進めます。<br>◇ 沿岸部においては、復興のシンボルである、気仙沼市の大島架橋や女川町の出島架橋などの架橋事業を進めるほか、海岸保全施設の整備と併せて、多重防御による防災・減災機能を有する高嵩土構造の防災道路について、復興まちづくりと一体的に整備を進めます。<br>3 橋梁等の耐震化・長寿命化<br>◇ 橋梁などの道路関連施設における耐震化計画及び長寿命化計画に基づき、順次新たな対策を推進し、耐震化・長寿命化を着実に実施します。<br>4 港湾機能の拡充と利用促進<br>◇ 仙台塩釜港のさらなる利用拡大や効率的な管理運営に向けて、埠頭用地拡張や防波堤の延伸など、港湾機能の拡充を図ります。<br>◇ 貨物集荷、企業誘致や新規航路の開拓など、積極的なポートセールスを推進します。<br>5 仙台空港の利用促進<br>◇ 仙台空港利用の旅客・貨物需要を喚起するとともに、エアポートセールスに取り組みます。<br>◇ 仙台空港の運営権者や地元自治体・経済界等と連携し、航空路線の拡充や空港の利用促進に積極的に取り組むとともに、周辺地域の更なる活性化を図ります。 |
|--|---|

| 決算(見込)額<br>(千円) | 年度   | 平成30年度<br>(決算(見込)額) | 令和1年度<br>(決算(見込)額) | 令和2年度<br>(決算(見込)額) | - |
|-----------------|------|---------------------|--------------------|--------------------|---|
|                 | 県事業費 | 107,958,812         | 139,106,774        | -                  | - |

※決算(見込)額は再掲分含む

|  |   |                                 |                       |                       |                       |                     |                       |
|--|---|---------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|
| <b>目標指標等</b><br>■達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」<br>C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」<br>■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 スtock型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)<br>目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値) |   | 初期値<br>(指標測定年度)                 | 目標値<br>(指標測定年度)       | 実績値<br>(指標測定年度)       | 達成度<br>達成率            | 計画期間目標値<br>(指標測定年度) |                       |
|  | 1 | 公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)の完了数(箇所)[累計] | 0箇所<br>(平成22年度)       | 1,525箇所<br>(令和元年度)    | 1,511箇所<br>(令和元年度)    | B<br>99.1%          | 1,534箇所<br>(令和2年度)    |
|  | 2 | 主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数(橋)[累計]        | 0橋<br>(平成22年度)        | 63橋<br>(令和元年度)        | 57橋<br>(令和元年度)        | B<br>90.5%          | 70橋<br>(令和2年度)        |
|  | 3 | 仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量[実入り](TEU) | 134,856TEU<br>(平成20年) | 186,000TEU<br>(令和元年度) | 197,141TEU<br>(令和元年度) | A<br>106.0%         | 191,000TEU<br>(令和2年度) |

|            |                     |                      |                 |
|------------|---------------------|----------------------|-----------------|
| 令和1年県民意識調査 | 満足群の割合<br>(満足+やや満足) | 不満足群の割合<br>(やや不満+不満) | 満足群・不満群の割合による区分 |
|            | 51.8%               | 18.9%                | I               |

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合40%以上  
かつ不満群の割合20%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合40%未満  
かつ不満群の割合20%以上

| ■ 施策評価（原案）   | 概ね順調  |
|--------------|---|
| <b>評価の理由</b> |   |
| 目標指標等        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標1の「公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)の完了数(箇所[累計])」については、目標値1,525箇所に対して、実績値1,511箇所と99.1%の達成率で、達成度は「B」に区分される。</li> <li>・目標指標2の「主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数(橋[累計])」については、目標値63橋に対して、実績値57橋と90.5%の達成率で、達成度は「B」に区分される。</li> <li>・目標指標3の「仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量[実入り](TEU)」については、東日本大震災の影響による大幅な落ち込みから順調に回復しており、達成率は106.0%と達成度「A」に区分される。</li> </ul>  |
| 県民意識         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度県民意識調査結果では、「重要」又は「やや重要」の「高重視群」は76.0%であり、沿岸部において4位に入るなど、内陸部と比べて高い値であった。また、「満足」又は「やや満足」の「満足群」は51.8%で県全体の2位であり、沿岸部及び内陸部の両方で高い満足度となっていることから、これまで進めてきた施策の成果が現れているものと考えられる。</li> </ul>   |
| 社会経済情勢       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災からの一日も早い復旧・復興を目指し、単なる原形復旧ではなく、地震や津波による被災事象を踏まえ、施設の構造や断面等の技術的な検討を通じて、施設の再構築に取り組んできたところである。<br/>しかしながら、今回の被災は、甚大かつ広範囲であり、これまでに経験したことのない大規模なものであることから、復旧・復興事業の推進にあたっては、発注者のマンパワー不足に対応した工事執行体制及び監督体制の再構築、工事受注者の労働者不足による労働需給のひっ迫、入札不調など、一部では改善傾向が見られるものの、未だに問題が顕在化しているほか、市町のまちづくり計画をはじめとする他事業との調整等に時間を要しており、事業進捗への影響も出ている。</li> </ul>  |
| 事業の成果等       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「①高規格幹線道路等の整備」では、国土交通省において三陸縦貫自動車道の整備が加速度的に進められており、令和2年2月24日に気仙沼中央IC～気仙沼港IC間の1.7kmが開通し、県内区間の整備率は約93%となった。残る区間についても整備を促進し、令和2年度に全線が開通することが公表されており、防災道路ネットワークを形成する高規格幹線道路の整備は順調に進んでいる。さらに、令和元年6月9日にみやぎ東北高速幹線道路のIV期(築館工区)1.7kmが開通し、事業区間の整備率は約81%となり、県北地域の東西軸の形成が進んだ。</li> <li>・「②主要幹線となる国道、県道の整備及び復興まちづくりと一体となった関連道路の整備」では、復興のシンボル事業として整備を進めている大島架橋事業において、気仙沼大島大橋を含む浪板橋から大島磯草間の5.5kmが供用を開始したほか、令和元年12月21日に岩沼市と村田町を結ぶ主要地方道岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐道路(志賀姥ヶ懐トンネル)が開通した。また、防災集団移転地間等を結ぶ道路の整備については、主要地方道石巻鮎川線小網倉浜工区や主要地方道女川牡鹿線小浜浜工区が開通したほか、主要地方道女川牡鹿線鮫浦工区、大谷川工区、谷川工区が開通するなど、これまで21箇所が開通しており、復興まちづくりと一体となった道路整備が着実に進んでいる。</li> <li>・目標指標である公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)では、令和元年度に一般県道石巻工業港矢本線大曲工区や国道398号折立橋など9箇所が完成し、完了数は目標値1,525箇所に対して実績値1,511箇所であり、99.1%の達成率となった。残る箇所についても、令和2年度までの完成に向け工事を推進している。</li> <li>・「③橋梁等の耐震化・長寿命化」では、地震時における主要幹線道路等の橋梁耐震性や安全性を確保するため耐震化工事を実施し、57橋が完了したほか、橋梁長寿命化計画に基づき、老朽化した橋梁について予防保全的に補修を行い、92橋が完了した。</li> <li>・目標指標の橋梁耐震化完了数について、目標値63橋に対して実績値57橋で90.5%の達成率となっており、着実に耐震化が進んでいる。</li> <li>・「④港湾機能の拡充と利用促進」では、仙台塩釜港(仙台港区)において、港湾機能充実の観点から高砂コンテナターミナルの拡張及び高松埠頭の整備について利用者の意見も踏まえながら継続的に取組を推進し、また、利用促進を図るため、荷主企業や船社へのポートセールスに取り組んでおり、外航航路やコンテナ貨物取扱量の増加に繋がっている。</li> <li>・目標指標のコンテナ貨物取扱量については、目標値186,000TEUに対し、実績値197,141TEUと目標を上回り、震災前の平成22年取扱量(155,454TEU)に比べ127%となっていることから、順調に推移している。</li> <li>・「⑤仙台空港の利用促進」では、知事によるトップセールスをはじめ、空港運営権者による民間ノウハウを活用した、航空路線誘致や空港の利用促進に関する取組を積極的に推進した結果、国内線においてエアアジア・ジャパンが仙台と名古屋を結ぶ初のLCC路線を就航させたほか、国際線においてはタイ国際航空のバンコク線、中国国際航空の大連線の就航や台北線の大幅な増便(週13往復→週19往復)等が実現した。それに伴い、旅客数についても順調に推移していたものの、2月から新型コロナウイルスの影響が拡大し、国際線を中心に路線の運休が相次ぐこととなった。結果的に仙台空港の令和元年度旅客数は378万人となり過去最多を更新したが、約4%の伸びにとどまった。</li> <li>・以上、施策を構成する3つの指標のうち、2つが達成されていない状況であるが、何れも達成率は90%を超えていることから、事業の成果が現れているものと考えられる。また、3つ目の指標である仙台塩釜港でのコンテナ貨物取扱量では、目標値を上回る成果が出ている。</li> <li>・さらに、施策の方向別で見ると、三陸縦貫自動車道等が相次いで供用するなど、防災道路ネットワークの構築が進んでいることや、仙台空港での航空路線拡充や旅客数が過去最高を記録するなど、目標指標では示されない施策の方向1から5のそれぞれにおいて着実に成果が出ていることを総合的に勘案し、「概ね順調」と評価した。</li> </ul> |

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

**施策を推進する上での課題と対応方針（原案）**

| 課題   | 対応方針   |
|--|--|
| <p>&lt;道路&gt;<br/>                     ・公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)については、沿岸部で実施している一部の事業で他事業調整などにより遅延が生じていることから、令和2年度の全箇所完了に向けて適正な事業進行管理が必要である。</p> <p>&lt;港湾&gt;<br/>                     ・高砂ふ頭の混雑解消や将来のコンテナ貨物の増加に対応した高砂コンテナターミナルの拡張工事について、令和5年度の完成に向けて、適正な事業進行管理が必要となる。</p> <p>&lt;空港&gt;<br/>                     ・空港民営化後の航空路線拡充に向けたエアポートセールスについては、運営権者である仙台国際空港株式会社が、国際航空商談会などの機会を捉えて、航空会社と直接交渉を行うなど、民間ノウハウを活かした営業活動を実施している。県では、同社や地元自治体・経済界等と連携しながら、知事等によるトップセールスや、航空路線誘致助成制度の運用など、航空会社に対する新規就航・増便等の働きかけを実施しているが、更なる路線の拡充を図るためには、空港運営権者と地元自治体・経済界等が連携し、空港振興に積極的に取り組んでいく必要がある。また、仙台空港国際線の更なる充実を図るためには、インバウンドのみならずアウトバウンドも含めた双方向の交流を促進する取組が必要である。</p> | <p>&lt;道路&gt;<br/>                     ・契約率や支出率により進行状況を見える化し、予算の執行管理を行うとともに、個別事業ごとに土木事務所と進捗状況の情報共有を図り、懸案事項があれば早期に解決できるよう、進行管理を徹底する。<br/>                     ・さらに、計画からの遅延が大きい事業については、土木部の「重点進行管理部会」において、より重点的な進行管理を実施する。</p> <p>&lt;港湾&gt;<br/>                     ・令和5年度の整備完了に向け、港湾利用者と十分に調整をしながら、ターミナルの拡張工事の推進を図る。</p> <p>&lt;空港&gt;<br/>                     ・地元官民で組織する「仙台空港国際化利用促進協議会」が、民営化を契機に、体制の充実・強化を図りつつ、プロモーションや空港の利用促進に積極的に取り組んでおり、今後とも協議会への参画を通じて、関係機関との連携を図りながら、空港の利用促進や新型コロナウイルスで落ち込んだ航空需要の喚起に取り組んでいく。<br/>                     ・インバウンド促進の取組としては、東北各県の知事や経済界が一体となって実施するトップセールスや、航空路線誘致助成制度の効果的な活用を通じ、国際線の路線誘致を進め、仙台空港を拠点とした海外誘客の促進に積極的に取り組んでいく。<br/>                     ・アウトバウンド促進の取組としては、県では、若年層を対象にパスポート取得費用の一部を助成する「仙台空港国際線利用促進キャンペーン」や各種メディア(タウン誌・ラジオ等)を活用した仙台空港のPR等を実施していく。</p> |

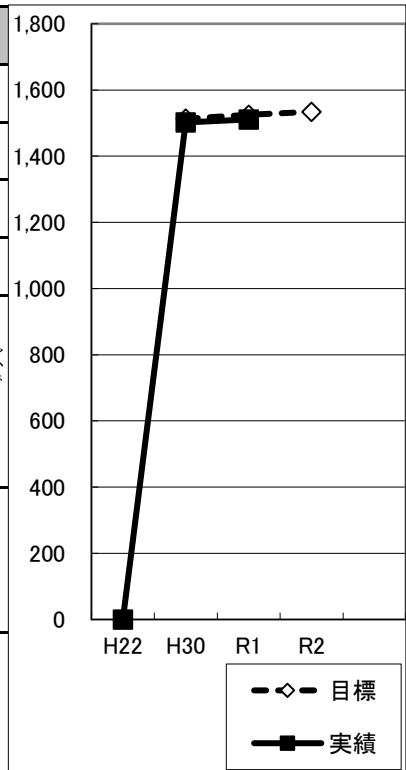
評価対象年度 令和1年度

政策 5 施策 1

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

| 1 | 目標指標等名<br>(下段:説明)                                     | 評価対象年度 | 初期値 | H30   | R1    | R2    | - |
|---|---|--------|-----|-------|-------|-------|---|
|   | 公共土木施設災害復旧事業<br>(道路・橋梁)の完了数(箇所)<br>[累計]<br>[ストック型の指標] | 指標測定年度 | H22 | H30   | R1    | R2    | - |
|   |   | 目標値    | -   | 1,513 | 1,525 | 1,534 | - |
|   |   | 実績値    | 0   | 1,502 | 1,511 | -     | - |
|   |   | 達成率    | -   | 99.3% | 99.1% | -     | - |

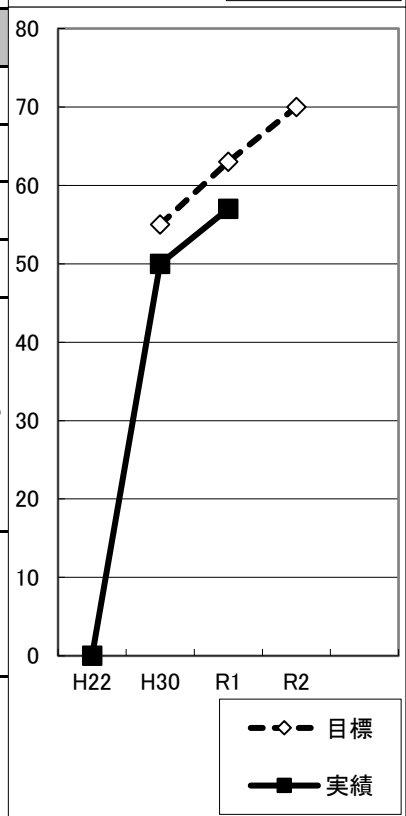


**目標値の設定根拠**  
 ・公共土木施設(道路・橋梁)における災害復旧事業箇所は、全体で1,534か所(廃工箇所を除く。)である。  
 ・災害復旧事業は原則として3か年での完了を目指す、市町で策定している復興まちづくり計画や河川・海岸の災害復旧事業など、他事業との調整が必要な箇所は令和2年度までの完了を目指す。

**実績値の分析**  
 ・目標値1,525箇所に対して、実績値1,511箇所であり、達成率は99.1%となっている。

**全国平均値や近隣他県等との比較**  
 -

| 2 | 目標指標等名<br>(下段:説明)                      | 評価対象年度 | 初期値 | H30   | R1    | R2  | - |
|---|--|--------|-----|-------|-------|-----|---|
|   | 主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数(橋)[累計]<br>[ストック型の指標] | 指標測定年度 | H22 | H30   | R1    | R2  | - |
|   |  | 目標値    | -   | 55橋   | 63橋   | 70橋 | - |
|   |  | 実績値    | 0橋  | 50橋   | 57橋   | -   | - |
|   |  | 達成率    | -   | 90.9% | 90.5% | -   | - |



**目標値の設定根拠**  
 ・次の条件により橋梁数を設定している。  
 ・「昭和55年以前の道路橋示方書に基づき設計された橋梁で、橋長15m以上の複数径間及び橋長25m以上の単径間の橋梁」、「地域の主要な幹線道路上にある橋梁(交通量10,000台/日以上・都市部、5,000台/日以上・地方部)」、「100m以上の大規模な橋梁」、「集落が孤立する可能性がある道路の橋梁」、「第三者に大きな被害を与えるおそれがある橋梁(鉄道・道路架空、ライフライン添架)」、「阪神淡路大震災の耐震設計基準(平成8年道路橋示方書)」を満足していない緊急輸送路上にある橋梁」。

**実績値の分析**  
 ・令和元年度は18橋の耐震化工事を実施し、7橋が完了した(累計57橋)。

**全国平均値や近隣他県等との比較**  
 -

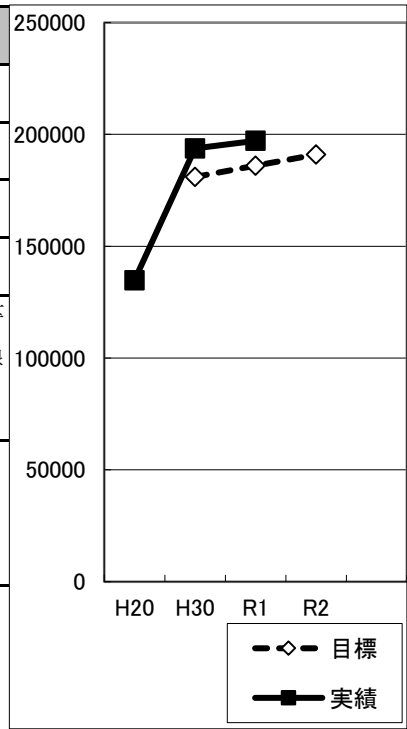
評価対象年度 令和1年度

政策 5 施策 1

**目標指標等の状況**

■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)

| 3               | 目標指標等名<br>(下段:説明)   | 評価対象年度 | 初期値     | H30     | R1      | R2      | - |   |
|-----------------|---|--------|---------|---------|---------|---------|---|---|
|                 | 仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量[実入り]<br>(TEU)<br>[フロー型の指標]  | 指標測定年度 | H20     | H30     | R1      | R2      | - | - |
|                 |   | 目標値    | -       | 181,000 | 186,000 | 191,000 | - | - |
|                 | 仙台塩釜港(仙台港区)における輸移出入に係る実入りコンテナ貨物の取扱量   | 実績値    | 134,856 | 193,775 | 197,141 | -       | - | - |
|                 |   | 達成率    | -       | 107.1%  | 106.0%  | -       | - | - |
| 目標値の設定根拠        | ・平成30年目標値は、震災以前の水準に留まらず、さらなる発展に向けて港湾取扱貨物量を伸ばしていくこととしていることから、平成25年6月に改訂した仙台塩釜港港湾計画において推計した平成37年貨物量を基に、途中年次における貨物量を平成25年目標値から線形補間した値としている。        |        |         |         |         |         |   |   |
| 実績値の分析          | ・東日本大震災の影響により、平成23年の取扱量は前年に比べ大幅に落ち込んだが、その後順調に回復し、令和元年実績値は震災前の水準を超える実績(平成22年比で127%)となっており、年度目標値に対し106%の達成率となった。取扱貨物の傾向としては、ゴム製品や化学薬品の取扱量が増加している。 |        |         |         |         |         |   |   |
| 全国平均値や近隣他県等との比較 | -   |        |         |         |         |         |   |   |



評価対象年度 令和1年度

政策 5 施策 1

| 県民意識調査結果         |                         |               |                         |       |                         |       |                       |       |       |
|------------------|-------------------------|---------------|-------------------------|-------|-------------------------|-------|-----------------------|-------|-------|
| 調査実施年度<br>(調査名称) |                         |               | 平成29年度<br>(平成29年県民意識調査) |       | 平成30年度<br>(平成30年県民意識調査) |       | 令和1年度<br>(令和1年県民意識調査) |       |       |
| 県<br>全<br>体      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要           | 高重視群<br>の割合             | 37.2% | 74.6%                   | 39.1% | 71.7%                 | 39.8% | 76.0% |
|                  |                         | やや重要          |                         | 37.4% |                         | 32.6% |                       | 36.2% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない | 低重視群<br>の割合             | 4.8%  | 6.3%                    | 5.7%  | 7.4%                  | 5.8%  | 7.2%  |
|                  |                         | 重要ではない        |                         | 1.5%  |                         | 1.7%  |                       | 1.4%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 19.1% |                         | 20.9% |                       | 16.7% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,784 |                         | 1,886 |                       | 1,780 |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足           | 満足群<br>の割合              | 7.7%  | 48.2%                   | 8.6%  | 46.5%                 | 10.8% | 51.8% |
|                  |                         | やや満足          |                         | 40.5% |                         | 37.9% |                       | 41.0% |       |
|                  |                         | やや不満          | 不満群<br>の割合              | 14.4% | 19.9%                   | 13.9% | 17.9%                 | 13.9% | 18.9% |
|                  |                         | 不 満           |                         | 5.5%  |                         | 4.0%  |                       | 5.0%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 31.9% |                         | 35.7% |                       | 29.4% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,760 |                         | 1,867 |                       | 1,761 |       |
| 沿<br>岸<br>部      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要           | 高重視群<br>の割合             | 41.5% | 77.4%                   | 40.6% | 73.1%                 | 43.9% | 79.6% |
|                  |                         | やや重要          |                         | 35.9% |                         | 32.5% |                       | 35.7% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない | 低重視群<br>の割合             | 4.1%  | 5.4%                    | 6.6%  | 8.0%                  | 5.5%  | 6.8%  |
|                  |                         | 重要ではない        |                         | 1.3%  |                         | 1.4%  |                       | 1.3%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 17.1% |                         | 18.8% |                       | 13.6% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 701   |                         | 707   |                       | 686   |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足           | 満足群<br>の割合              | 8.5%  | 49.4%                   | 7.2%  | 48.1%                 | 11.8% | 52.4% |
|                  |                         | やや満足          |                         | 40.9% |                         | 40.9% |                       | 40.6% |       |
|                  |                         | やや不満          | 不満群<br>の割合              | 14.5% | 21.1%                   | 14.6% | 19.8%                 | 14.5% | 22.0% |
|                  |                         | 不 満           |                         | 6.6%  |                         | 5.2%  |                       | 7.5%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 29.5% |                         | 32.2% |                       | 25.6% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 695   |                         | 699   |                       | 677   |       |
| 内<br>陸<br>部      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要           | 高重視群<br>の割合             | 34.7% | 72.7%                   | 37.9% | 70.5%                 | 37.4% | 73.9% |
|                  |                         | やや重要          |                         | 38.0% |                         | 32.6% |                       | 36.5% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない | 低重視群<br>の割合             | 5.2%  | 6.7%                    | 5.3%  | 7.3%                  | 6.2%  | 7.5%  |
|                  |                         | 重要ではない        |                         | 1.5%  |                         | 2.0%  |                       | 1.3%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 20.7% |                         | 22.2% |                       | 18.6% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,046 |                         | 1,127 |                       | 1,054 |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足           | 満足群<br>の割合              | 7.4%  | 47.2%                   | 9.2%  | 45.0%                 | 9.9%  | 51.0% |
|                  |                         | やや満足          |                         | 39.8% |                         | 35.8% |                       | 41.1% |       |
|                  |                         | やや不満          | 不満群<br>の割合              | 14.3% | 19.1%                   | 13.4% | 16.7%                 | 13.7% | 16.9% |
|                  |                         | 不 満           |                         | 4.8%  |                         | 3.3%  |                       | 3.2%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 33.9% |                         | 38.4% |                       | 32.1% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,031 |                         | 1,116 |                       | 1,047 |       |

※ 沿岸部 : 沿岸15市町  
内陸部 : 沿岸部以外の市町村



|        |       |
|--------|-------|
| 評価対象年度 | 令和1年度 |
|--------|-------|

|    |   |    |   |
|----|---|----|---|
| 政策 | 5 | 施策 | 1 |
|----|---|----|---|

| 宮城県震災復興推進事業 |        |             |                        |  |            |      |  |                |               |    |   |
|-------------|--------|-------------|------------------------|--|------------|------|--|----------------|---------------|----|---|
| 評価番号        | 事業番号   | 事業名         | 令和1年度<br>決算見込額<br>(千円) | 事業の状況  |            |      |  |                |               |    |   |
|             |        |             |                        | 事業主体等  | 特記事項       | 事業概要 |  |                | 令和1年度の実施状況・成果 |    |   |
| 1           | 1      | 高規格幹線道路事業   | 8,351,100              | 事業概要   |            |      | 令和1年度の実施状況・成果  |                |               |    |   |
|             |        |             |                        | 国が事業主体となる三陸縦貫自動車道などの高規格幹線道路の整備等について、その事業費の一部を負担する。 |            |      | ・三陸縦貫自動車道は、気仙沼中央IC～気仙沼港IC間の工事が完成し、令和2年2月24日に供用を開始した。<br>・また、残る未供用区間についても整備を促進し、令和2年度末までに全線が開通することが公表された。<br>・この他、仙台北部道路、常磐自動車道について、暫定2車線区間の4車線化を事業化するよう、国土交通省に対して知事要望を実施した結果、国が策定する「高速道路における安全・安心基本計画」において、優先整備区間として選定された。今後、令和3年度以降の事業化に向けて取り組む。<br>・三陸縦貫自動車道の事業期間は令和2年度までの予定であるため、次年度の方向性は縮小とした。 |                |               |    |   |
|             |        | 土木部<br>道路課  | ビジョン<br>取組12           | 事業の分析結果  |            |      |  | 年度別決算(見込)額(千円) |               |    |   |
|             |        |             |                        | ①必要性   | ②有効性       | ③効率性 | 次年度の方向性  | H30            | R1            | R2 | - |
| 妥当          | 成果があった | 効率的         | 縮小                     | 9,431,700  | 8,351,100  | -    | -  |                |               |    |   |
| 2           | 2      | 地域高規格幹線道路事業 | 6,091,651              | 事業概要   |            |      | 令和1年度の実施状況・成果  |                |               |    |   |
|             |        |             |                        | 県土の復興を支える、みやぎ県北高速幹線道路の整備を推進し、地域連携の強化を図る。           |            |      | ・みやぎ県北高速幹線道路の県北Ⅲ期(佐沼工区)について、用地買収を推進するとともに、道路改良工事、橋梁工事を推進し、迫川を渡河する紫雲山大橋(L=741m)が完成した。<br>・また、県北Ⅳ期(築館工区)は工事が完成し、令和元年6月9日に供用を開始した。<br>・この他、仙台東道路について、新規事業化に向けた調査(概略ルート、構造の検討)を促進するよう、国土交通省に対して知事要望を実施した。<br>・みやぎ県北高速幹線道路の事業期間は令和2年度までの予定であるため、次年度の方向性は縮小とした。  |                |               |    |   |
|             |        | 土木部<br>道路課  | ビジョン<br>取組12           | 事業の分析結果  |            |      |  | 年度別決算(見込)額(千円) |               |    |   |
|             |        |             |                        | ①必要性   | ②有効性       | ③効率性 | 次年度の方向性  | H30            | R1            | R2 | - |
| 妥当          | 成果があった | 効率的         | 縮小                     | 6,568,298  | 6,091,651  | -    | -  |                |               |    |   |
| 3           | 3      | 道路維持修繕事業    | 13,528,805             | 事業概要   |            |      | 令和1年度の実施状況・成果  |                |               |    |   |
|             |        |             |                        | 災害時における緊急輸送道路の通行確保や復旧・復興を確実に実施するため、適切な道路管理を行う。     |            |      | ・安全で円滑な交通を確保するため、通常の舗装補修に加え、復興車両等の増加に伴う路面損傷箇所の補修を22路線31か所で実施した。  |                |               |    |   |
|             |        | 土木部<br>道路課  | ビジョン<br>取組12           | 事業の分析結果  |            |      |  | 年度別決算(見込)額(千円) |               |    |   |
|             |        |             |                        | ①必要性   | ②有効性       | ③効率性 | 次年度の方向性  | H30            | R1            | R2 | - |
| 妥当          | 成果があった | 効率的         | 維持                     | 9,982,904  | 13,528,805 | -    | -  |                |               |    |   |

| 4 | 4   | 道路改築事業           | 48,836,704   | 事業概要   |        |      |         | 令和1年度の実施状況・成果   |            |    |   |
|---|-----|------------------|--------------|--|--------|------|---------|---|------------|----|---|
|   |     |                  |              | 防災道路ネットワークの構築及び、地域連携の強化を図る道路整備を行う。                         |        |      |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道113号(蔵本工区)、主要地方道気仙沼唐桑線(化粧坂工区)など、各道路改良事業において、用地補償や道路改良工事を推進した。</li> <li>・主要地方道岩沼蔵王線(大師姥ヶ懐工区)は工事が完成し、令和元年12月21日に供用を開始した。</li> <li>・主要地方道女川牡鹿線(小乗浜工区)は工事が進捗し、令和2年3月22日に本線部分が供用を開始した。</li> <li>・国道398号(崎山工区)は工事が進捗し、令和2年1月21日にトンネルが貫通した。</li> </ul>           |            |    |   |
| 4 | 土木部 | 道路課              | ビジョン<br>取組12 | 事業の分析結果  |        |      |         | 年度別決算(見込)額(千円)  |            |    |   |
|   |     |                  |              | ①必要性   | ②有効性   | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30   | R1         | R2 | - |
|   |     |                  |              | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 23,457,260  | 48,836,704 | -  | - |
| 5 | 5   | 交通安全施設等整備事業      | 1,987,234    | 事業概要   |        |      |         | 令和1年度の実施状況・成果   |            |    |   |
|   |     |                  |              | 歩行者・自転車の安全確保や交通の円滑化を図るため、歩道整備や交差点改良を行う。                    |        |      |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な歩行空間を整備し、児童や高齢者等の安全確保を図るため、19か所で歩道整備を実施した。</li> <li>・また、令和元年5月に発生した滋賀県大津市での事故を踏まえ、対策が必要な37か所について予算を措置し、整備を推進した。</li> </ul>   |            |    |   |
| 5 | 土木部 | 道路課              | ビジョン<br>取組12 | 事業の分析結果  |        |      |         | 年度別決算(見込)額(千円)  |            |    |   |
|   |     |                  |              | ①必要性   | ②有効性   | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30   | R1         | R2 | - |
|   |     |                  |              | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 1,158,437   | 1,987,234  | -  | - |
| 6 | 6   | 災害防除事業           | 3,854,038    | 事業概要   |        |      |         | 令和1年度の実施状況・成果   |            |    |   |
|   |     |                  |              | 道路利用者の安全性を確保するため、落石等の危険箇所について災害防除事業を行う。                    |        |      |         | 道路利用者の安全性を確保するため、落石等の危険箇所について災害防除事業を30か所で実施した。  |            |    |   |
| 6 | 土木部 | 道路課              | ビジョン<br>取組32 | 事業の分析結果  |        |      |         | 年度別決算(見込)額(千円)  |            |    |   |
|   |     |                  |              | ①必要性   | ②有効性   | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30   | R1         | R2 | - |
|   |     |                  |              | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 2,324,281   | 3,854,038  | -  | - |
| 7 | 7   | 広域道路ネットワーク整備事業   | 4,616,641    | 事業概要   |        |      |         | 令和1年度の実施状況・成果   |            |    |   |
|   |     |                  |              | 高規格道路の計画に合わせたアクセス道路の整備や、産業拠点の形成及び地域連携を支援する広域道路ネットワークを整備する。 |        |      |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道346号(錦織工区)は工事が完成し、令和2年3月7日に供用を開始した。</li> <li>・主要地方道築館登米線((仮称)栗原IC)は、道路設計等を推進した。</li> <li>・主要地方道仙台村田線((仮称)菅生SIC)は、令和2年度の工事着手に向け、用地補償等を推進した。</li> <li>・一般県道大島浪板線(浪板工区)は浪板橋から(仮)大島IC区間の工事が完成し、供用を開始した。</li> <li>・その他各道路改良事業について、調査設計や道路改良工事を推進した。</li> </ul> |            |    |   |
| 7 | 土木部 | 道路課              | ビジョン<br>取組12 | 事業の分析結果  |        |      |         | 年度別決算(見込)額(千円)  |            |    |   |
|   |     |                  |              | ①必要性   | ②有効性   | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30   | R1         | R2 | - |
|   |     |                  |              | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 2,668,994   | 4,616,641  | -  | - |
| 8 | 8   | 公共土木施設災害復旧事業(道路) | 14,753,142   | 事業概要   |        |      |         | 令和1年度の実施状況・成果   |            |    |   |
|   |     |                  |              | 被災した道路及び橋梁等について、公共土木施設災害復旧事業により施設復旧を行う。                    |        |      |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度末現在、計画値1,525か所のうち、1,511か所(道路1,399か所、橋梁112か所)が完成した(完成率99.1%)。</li> <li>・残る箇所についても、令和2年度末までの完成に向け、工事を推進した。</li> </ul>  |            |    |   |
| 8 | 土木部 | 道路課              | ビジョン<br>取組12 | 事業の分析結果  |        |      |         | 年度別決算(見込)額(千円)  |            |    |   |
|   |     |                  |              | ①必要性   | ②有効性   | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30   | R1         | R2 | - |
|   |     |                  |              | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 縮小      | 8,207,569   | 14,753,142 | -  | - |

| 9  | 9            | 離島振興事業(道路)   | 3,583,346 | 事業概要   |       |         |                | 令和1年度の実施状況・成果  |    |   |  |
|----|--------------|--------------|-----------|--|-------|---------|----------------|--|----|---|--|
|    |              |              |           | 震災により被災した離島地域を支援するため、架橋整備や島内道路整備を行う。                                       |       |         |                | ・一般県道大島浪板線(大島工区)は気仙沼大島大橋を含む(仮)大島IC～磯草区間の工事が完成し、平成31年4月7日に供用を開始した。<br>・町道女川出島線の出島架橋は、令和2年度からの本体工事着手に向け、技術検討委員会に諮りながら、橋梁詳細設計を完了した。 |    |   |  |
| 9  | 土木部<br>道路課   | ビジョン<br>取組12 | 事業の分析結果   |  |       |         | 年度別決算(見込)額(千円) |  |    |   |  |
|    |              |              | ①必要性      | ②有効性   | ③効率性  | 次年度の方向性 | H30            | R1   | R2 | - |  |
|    |              |              | 妥当        | 成果があった   | 効率的   | 維持      | 1,805,420      | 3,583,346  | -  | - |  |
| 10 | 10           | 都市計画街路事業     | 5,236,899 | 事業概要   |       |         |                | 令和1年度の実施状況・成果  |    |   |  |
|    |              |              |           | 東日本大震災により被災を受けた市街地等の復旧復興を図るため街路整備を実施し、市町村の再生発展を支援する。                       |       |         |                | ・14路線の都市計画道路の進捗を図り、都市計画道路源光町田線ほか3路線について事業を完了させた。   |    |   |  |
| 10 | 土木部<br>都市計画課 | ビジョン<br>取組12 | 事業の分析結果   |  |       |         | 年度別決算(見込)額(千円) |  |    |   |  |
|    |              |              | ①必要性      | ②有効性   | ③効率性  | 次年度の方向性 | H30            | R1   | R2 | - |  |
|    |              |              | 妥当        | 成果があった   | 効率的   | 維持      | 8,786,366      | 5,236,899  | -  | - |  |
| 11 | 11           | 橋梁耐震化事業      | 5,703,226 | 事業概要   |       |         |                | 令和1年度の実施状況・成果  |    |   |  |
|    |              |              |           | 地震時における主要幹線道路等の耐震性、安全性を確保するため、耐震化を行う。                                      |       |         |                | ・主要な幹線道路上の61橋のうち、9橋の耐震化工事を実施し、6橋が完成した(累計56橋完成)。<br>・さらに、阪神淡路大震災未対応となっている緊急輸送道路上の橋梁9橋の耐震化工事を実施し、1橋が完成した(累計1橋完成)。                  |    |   |  |
| 11 | 土木部<br>道路課   | ビジョン<br>取組31 | 事業の分析結果   |  |       |         | 年度別決算(見込)額(千円) |  |    |   |  |
|    |              |              | ①必要性      | ②有効性   | ③効率性  | 次年度の方向性 | H30            | R1   | R2 | - |  |
|    |              |              | 妥当        | 成果があった   | 効率的   | 維持      | 2,885,482      | 5,703,226  | -  | - |  |
| 12 | 12           | 橋梁長寿命化事業     | 4,686,844 | 事業概要   |       |         |                | 令和1年度の実施状況・成果  |    |   |  |
|    |              |              |           | 橋梁の長寿命化を図るため、橋梁長寿命化計画に基づき、老朽化した橋梁について予防保全的に補修を行う。                          |       |         |                | ・長寿命化計画の補修対象橋梁590橋のうち、36橋の補修を実施し、12橋が完成した(累計92橋完成)。<br>・横断歩道橋長寿命化計画の補修対象橋梁23橋のうち、7橋の補修工事を実施し、3橋が完成した(累計6橋完成)。                    |    |   |  |
| 12 | 土木部<br>道路課   | ビジョン<br>取組31 | 事業の分析結果   |  |       |         | 年度別決算(見込)額(千円) |  |    |   |  |
|    |              |              | ①必要性      | ②有効性   | ③効率性  | 次年度の方向性 | H30            | R1   | R2 | - |  |
|    |              |              | 妥当        | 成果があった   | 効率的   | 維持      | 1,333,736      | 4,686,844  | -  | - |  |
| 13 | 13           | 港湾整備事業       | 7,389,310 | 事業概要   |       |         |                | 令和1年度の実施状況・成果  |    |   |  |
|    |              |              |           | 宮城のみならず東北の復興と発展をけん引する中核的国際拠点港湾を目指し、より適切な管理・運営を図るとともに、港湾機能の拡充のための施設整備を推進する。 |       |         |                | ・仙台塩釜港(仙台港区)において、船舶の大型化やコンテナ貨物の増大に対応するため、高砂コンテナターミナルの拡張整備を推進した。  |    |   |  |
| 13 | 土木部<br>港湾課   | ビジョン<br>取組12 | 事業の分析結果   |  |       |         | 年度別決算(見込)額(千円) |  |    |   |  |
|    |              |              | ①必要性      | ②有効性   | ③効率性  | 次年度の方向性 | H30            | R1   | R2 | - |  |
|    |              |              | 妥当        | 成果があった   | 概ね効率的 | 維持      | 5,720,985      | 7,389,310  | -  | - |  |

|                 |         |  |           |      |        |  |                |               |           |    |   |
|-----------------|---------|--|-----------|------|--------|--|----------------|---------------|-----------|----|---|
| 14              | 14      | 公共土木施設災害復旧事業(港湾)   | 1,988,178 | 事業概要 |        |  |                | 令和1年度の実施状況・成果 |           |    |   |
|                 |         | 被災した港湾施設等について、公共土木施設災害復旧事業により施設の復旧を行う。   |           |      |        | ・全箇所について事業着手した。<br>・令和元年度末現在、264箇所完了(完成率91%)   |                |               |           |    |   |
|                 |         | 土木部  | 事業の分析結果   |      |        |  | 年度別決算(見込)額(千円) |               |           |    |   |
|                 | 港湾課     |  |           | ①必要性 | ②有効性   | ③効率性   | 次年度の方向性        | H30           | R1        | R2 | - |
|                 |         |  |           | 妥当   | 成果があった | 概ね効率的  | 廃止             | 10,874,653    | 1,988,178 | -  | - |
| 15              | 15      | 港湾整備事業(復興)   | 7,600,370 | 事業概要 |        |  |                | 令和1年度の実施状況・成果 |           |    |   |
|                 |         | 津波や高潮に対して安全な物流拠点機能を確認し、災害に強い港湾を形成するため、岸壁背後において防潮堤や漂流物対策施設を整備する。                  |           |      |        | ・数十年～百数十年に一度程度のレベル1津波高に対応し新たに整備する防潮堤や陸閘について、全箇所事業着手し、引き続き事業進捗を図った。   |                |               |           |    |   |
|                 |         | 土木部  | 事業の分析結果   |      |        |  | 年度別決算(見込)額(千円) |               |           |    |   |
|                 | 港湾課     | ビジョン取組12   |           | ①必要性 | ②有効性   | ③効率性   | 次年度の方向性        | H30           | R1        | R2 | - |
|                 |         |  |           | 妥当   | 成果があった | 概ね効率的  | 維持             | 12,265,655    | 7,600,370 | -  | - |
| 16              | 16      | 海岸改修事業(港湾)   | 552,743   | 事業概要 |        |  |                | 令和1年度の実施状況・成果 |           |    |   |
|                 |         | 港湾海岸における津波や高潮からの安全性を保持するため、海岸保全施設の整備及び適切な管理を推進する。                                |           |      |        | ・陸閘・水門の適切な維持管理のための保守点検を実施した。<br>・海岸バトロールを実施した。   |                |               |           |    |   |
|                 |         | 土木部  | 事業の分析結果   |      |        |  | 年度別決算(見込)額(千円) |               |           |    |   |
|                 | 港湾課     | ビジョン取組31   |           | ①必要性 | ②有効性   | ③効率性   | 次年度の方向性        | H30           | R1        | R2 | - |
|                 |         |  |           | 妥当   | 成果があった | 概ね効率的  | 維持             | 193,518       | 552,743   | -  | - |
| 17              | 17      | 港湾利用促進事業   | 10,003    | 事業概要 |        |  |                | 令和1年度の実施状況・成果 |           |    |   |
|                 |         | コンテナ貨物等の集貨促進と新規航路の開設や既存航路の安定化のための誘致活動(ポートセールス)を行う。                               |           |      |        | ・集貨促進や新規航路誘致及び定期航路の維持に向けて、企業訪問やセミナーの開催などのポートセールスを展開し、仙台塩釜港の利用拡大を推進した。  |                |               |           |    |   |
|                 |         | 土木部  | 事業の分析結果   |      |        |  | 年度別決算(見込)額(千円) |               |           |    |   |
|                 | 港湾課     | ビジョン取組12   |           | ①必要性 | ②有効性   | ③効率性   | 次年度の方向性        | H30           | R1        | R2 | - |
|                 |         |  |           | 妥当   | 成果があった | 概ね効率的  | 維持             | 10,315        | 10,003    | -  | - |
| 18              | 18      | 仙台空港利用促進加速事業   | 106,288   | 事業概要 |        |  |                | 令和1年度の実施状況・成果 |           |    |   |
|                 |         | 仙台空港を「東北の玄関口」として、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、自治体や空港関係機関、経済界等と連携し、仙台空港の更なる利用促進を加速させる。 |           |      |        | ・知事等によるトップセールスのほか、空港運営権者等と連携したエアポートセールスを実施。<br>・地元官民で組織する協議会を中心に、空港の利用促進や需要喚起に向けたプロモーションを実施。<br>・エアアジア・ジャパンの名古屋(中部)線や、タイ国際航空のバンコク線、中国国際航空の大連線の就航などにより航空路線が拡充され、旅客数は過去最高となった平成30年度(361万人)を上回る378万人となった。 |                |               |           |    |   |
|                 |         | 土木部  | 事業の分析結果   |      |        |  | 年度別決算(見込)額(千円) |               |           |    |   |
|                 | 空港臨空地域課 | ビジョン取組12<br>地創1(1)⑨  |           | ①必要性 | ②有効性   | ③効率性   | 次年度の方向性        | H30           | R1        | R2 | - |
|                 |         |  |           | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持             | 44,425        | 106,288   | -  | - |
| 19              | 19      | 仙台空港整備事業(耐震化)  | 230,252   | 事業概要 |        |  |                | 令和1年度の実施状況・成果 |           |    |   |
|                 |         | 仙台空港の運用に必要な空港施設を改修するとともに、緊急時に係る輸送受入機能等を確保するため、空港の耐震化を推進する。                       |           |      |        | ・仙台空港B滑走路の耐震化L=38mの完了。   |                |               |           |    |   |
|                 |         | 土木部  | 事業の分析結果   |      |        |  | 年度別決算(見込)額(千円) |               |           |    |   |
|                 | 空港臨空地域課 | ビジョン取組31   |           | ①必要性 | ②有効性   | ③効率性   | 次年度の方向性        | H30           | R1        | R2 | - |
|                 |         |  |           | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持             | 238,814       | 230,252   | -  | - |
| 決算(見込)額計        |         | 139,106,774  |           |      |        |  |                |               |           |    |   |
| 決算(見込)額計(再掲分除き) |         | 139,106,774  |           |      |        |  |                |               |           |    |   |

|                   |                 |                           |            |                            |              |   |  |
|-------------------|-----------------|---------------------------|------------|----------------------------|--------------|---|--|
| 評価対象年度            | 令和1年度           | <b>施策評価シート(震災復興用)</b>     | 政策         | 5                          | 施策           | 2 |  |
| 施策名               | 2 海岸, 河川などの県土保全 |                           | 施策担当<br>部局 | 水産林政部, 土木部                 |              |   |  |
| 「宮城県震災復興計画」における体系 | 政策名             | 5 公共土木施設の早期復旧<br>【公共土木施設】 |            | 評価担当<br>部局<br>(作成担当<br>課室) | 土木部<br>(河川課) |   |  |

|  |                             |   |
|--|-----------------------------|---|
| <b>施策の方向</b><br><br>(「宮城の<br>将来ビジョン<br>・震災復興<br>・地方創生<br>実施計画」の<br>行動方針) | 1 海岸の整備                     | ◇ 津波や高潮から防御するため、背後地で行われるまちづくりと連携し、海岸防災林との組合せなどにより、防災・減災機能の強化を図りながら、海岸の整備を進めます。      |
|  | 2 河川の整備                     | ◇ 地盤沈下により、洪水被害のリスクが高まった低平地の治水安全度を早期に向上させるため、河道改修やダムなどの整備による、上下流一体となった総合的治水対策を推進します。 |
|  | 3 土砂災害対策の推進                 | ◇ 土砂災害危険箇所における基礎調査の実施や土砂災害警戒区域等の指定を推進し、県土全体の土砂災害防止対策を実施するとともに、住民の防災意識の醸成を図ります。      |
|  | 4 貞山運河再生・復興ビジョンに基づく運河の復旧・復興 | ◇ 国、県、市町、民間等からなる「貞山運河再生復興会議」において、施策や事業間の総合調整を図り、「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づく取組の具体化を進めます。     |

| 決算(見込)額<br>(千円) | 年度   | 平成30年度<br>(決算(見込)額) | 令和元年度<br>(決算(見込)額) | 令和2年度<br>(決算(見込)額) | - |
|-----------------|------|---------------------|--------------------|--------------------|---|
|                 | 県事業費 | 60,637,621          | 115,025,904        | -                  | - |

※決算(見込)額は再掲分含む

|   |   |                                      |                 |                 |                 |                     |                 |
|---|---|--------------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------------|-----------------|
| <b>目標指標等</b><br><br>■達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」<br>C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」<br>■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)<br>目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値) |   | 初期値<br>(指標測定年度)                      | 目標値<br>(指標測定年度) | 実績値<br>(指標測定年度) | 達成度<br>達成率      | 計画期間目標値<br>(指標測定年度) |                 |
|   | 1 | 比較的発生頻度の高い津波に対し、施設の防護機能が確保された海岸数(海岸) | 0海岸<br>(平成22年度) | 57海岸<br>(令和元年度) | 45海岸<br>(令和元年度) | C 78.9%             | 61海岸<br>(令和2年度) |
|   | 2 | 比較的発生頻度の高い津波に対し、施設の防護機能が確保された河川数(河川) | 0河川<br>(平成22年度) | 43河川<br>(令和元年度) | 15河川<br>(令和元年度) | C 34.9%             | 59河川<br>(令和2年度) |

| 令和1年県民意識調査 | 満足群の割合<br>(満足+やや満足) | 不満群の割合<br>(やや不満+不満) | 満足群・不満群<br>の割合による<br>区分 |
|------------|---------------------|---------------------|-------------------------|
|            | 43.2%               | 29.5%               | II                      |

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合40%以上  
かつ不満群の割合20%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合40%未満  
かつ不満群の割合20%以上

| ■ 施策評価（原案） |  | やや遅れている |
|------------|--|---------|
| 評価の理由      |  |         |
| 目標指標等      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標1の「比較的発生頻度の高い津波に対し、施設の防護機能が確保された海岸数」は、実績値が45海岸であり、達成率は78.9%で達成度「C」に区分される。全地区で工事に着手済みであり、出来高（実際の工事の進捗）は、8割を超えている。</li> <li>・目標指標2の「比較的発生頻度の高い津波に対し、施設の防護機能が確保された河川数」は、実績値が15河川であり、達成率は34.9%で達成度「C」に区分される。全地区で工事に着手済みであり、出来高（実際の工事の進捗）は、8割を超えている。</li> </ul>   |         |
| 県民意識       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年県民意識調査では、満足群が43.2%、不満群が29.5%となっている。圏域別では、沿岸部の満足群が44.6%、内陸部の満足群が42.7%となっており、内陸部と沿岸部で満足群のポイントの差はない。</li> <li>・沿岸部の満足群のポイントは前年度に比べて1.1ポイント上昇したことから、復旧・復興工事の進捗が目に見える形になってきたことがアンケート調査結果に反映されたと考える。</li> <li>・満足群の満足度は高くはないことから、引き続き復旧・復興の加速化に努めるとともに、より県民が実感できる情報発信の取組が必要と考える。</li> </ul>  |         |
| 社会経済情勢     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の影響により、河川・海岸保全施設は甚大な被害が発生しており、比較的発生頻度の高い津波に対応した施設整備が望まれている。</li> <li>・広域地盤沈下の影響により、洪水被害ポテンシャルが高まった低平地において、早期の治水安全度の向上が求められている。</li> <li>・昨今の異常気象により、全国各地で土砂災害が発生している。土砂災害対策に対する社会の要請は今後ますます高まっていくと思われる。</li> </ul>   |         |
| 事業の成果等     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・①「海岸の整備」については、公共土木施設災害復旧事業（海岸）が、関係機関との調整や用地取得に不測の時間を要しているため、災害復旧工事が完了した海岸は、45海岸にとどまるが、工事着手状況は、地元との調整を進めることで、全ての箇所ですべて工事に着手している。令和元年度末における出来高（実際の工事の進捗）は、計画に対し、8割を超えており、着実に事業の進捗が図られている。</li> <li>・②「河川の整備」については、一部の河川では、関係機関との調整や用地取得に不測の時間を要していることなどから、事業の完成は15河川にとどまっているが、全ての河川で工事に着手していることから、工事は着実に進捗している。令和元年度末における出来高（実際の工事の進捗）は、8割を超えており、着実に事業の進捗が図られている。</li> <li>・③土砂災害対策の推進については、土砂災害警戒区域等の指定が累計6,274か所（昨年度累計5,408か所）となり、着実に進んでいる。また、地震により土砂災害が発生した箇所における土砂災害防止施設整備が完了したことにより、県民の生命の保護などの減災効果が期待できる。（防災砂防課）</li> <li>・④「貞山運河再生・復興ビジョンに基づく運河の復旧・復興」については、名取市閑上地区で「令和元年度貞山運河桜植樹～復興～そして未来へ～in名取市閑上地区」を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、植樹会の開催は中止し、事務局による植樹（173本）のみを実施した。</li> <li>・再生期の目標を設定した当初は、震災復興期間（再生期）の最終年度である平成29年度末に全箇所完成させる高い目標を掲げ進めてきたが、目標指標1については78.9%（達成度「C」）、目標指標2については34.9%（達成度「C」）と判断される。地元との合意形成が進み、全ての箇所ですべて本格的な工事に着手していること、令和元年度末における出来高（実際の工事の進捗）については、海岸、河川共に8割を超え、着実に事業の進捗が図られていること、また、新たな完成目標とした震災復興期間（発展期）最終年度の令和2年度末までに全ての箇所が完成する見込みであるが、その完成途中における目標値は下回っているため、事業進捗は「やや遅れている」と考える。</li> </ul> |         |

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

| 施策を推進する上での課題と対応方針（原案）  |  |
|--|--|
| 課題   | 対応方針   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公共土木施設災害復旧工事」については、震災復興期間（再生期）である平成29年度末に全箇所完成させるという高い目標を掲げ進めてきたが、マンパワー不足、多数相続や共有地などの用地取得困難地、地元住民との合意形成及びまちづくりとの調整などから、一部工事については、完成目標を震災復興期間（発展期）の令和2年度に変更した。新たな完成目標に向け、さらに復旧・復興を加速化させるためにも、適切な進行管理が重要である。遅れの原因となっている課題や問題点を抽出し、これに対する対応方針を明確にし、重点的に進行管理を行う必要がある。</li> <li>・復旧・復興を進めていく上で、できる限り環境に配慮した災害復旧事業の推進が求められている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き「契約ベースの事業進行管理」を実施するとともに、工事履行報告書を活用した「工事進捗状況管理シート」に基づき、まちづくりなどの事業調整などの課題に対する対応を明確にし、工事完了年次を踏まえた進行管理を徹底していく。</li> <li>・進捗の遅れが大きい箇所など特に重点的な進行管理が必要な事業については、担当次長を筆頭とした「重点進行管理委員会」により進行管理を行い事業進捗の加速化を図っていく。これまでの取組に加え、平成30年度からは、県庁の担当課の技術総括が、重点進行管理委員会に参加し、事務所県庁一体となって進行管理を実施している。</li> <li>・マンパワー不足の対応としては外部委託の拡充を図っており、平成30年度からは、CM（コンストラクション・マネジメント）方式を導入している。</li> <li>・河川、海岸の災害復旧における事業実施時の環境配慮事項について、「環境アドバイザー制度」を活用しながら、学識者で構成される環境アドバイザーから助言・指導を事業計画に反映させる。全体的な調整が必要な事項の検討や各施設毎の環境配慮事項について、「宮城県環境アドバイザー会議」を開催し、合意形成を図りながら事業を進めていく。</li> </ul> |

評価対象年度 令和1年度

政策 5 施策 2

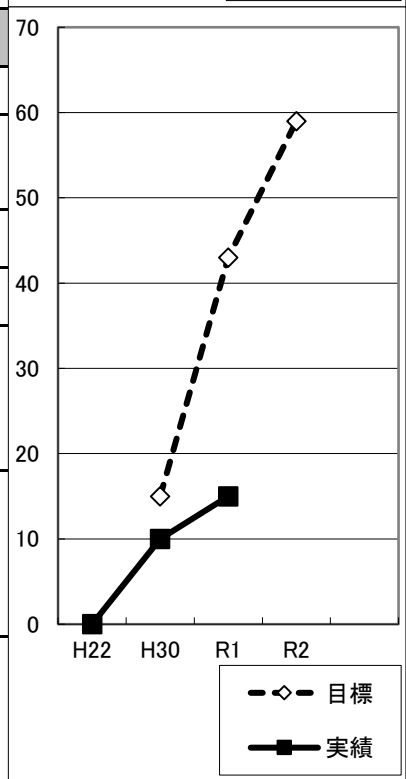
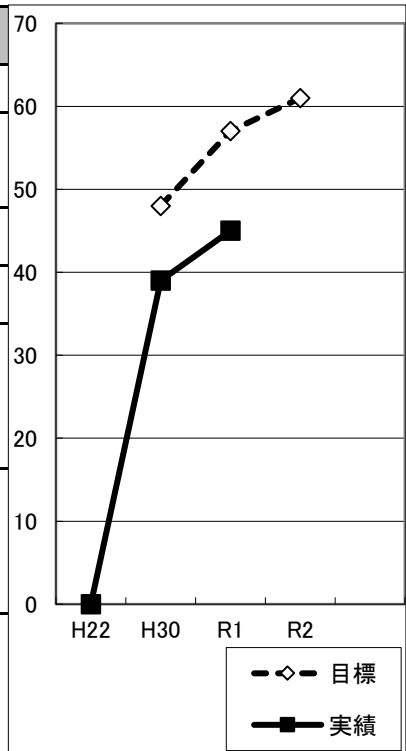
目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 スtock型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)

| 1               | 目標指標等名<br>(下段:説明)  | 評価対象年度 | 初期値   | H30   | R1 | R2 | - |
|-----------------|--|--------|-------|-------|----|----|---|
|                 | 比較的発生頻度の高い津波に対し、施設の防護機能が確保された海岸数(海岸)<br>[ストック型の指標]<br>震災により被災した海岸施設の災害復旧にあたって、百数十年に一度予想される津波高に対応した施設とする。                       | 指標測定年度 | H22   | H30   | R1 | R2 | - |
| 目標値             |  | -      | 48    | 57    | 61 | -  |   |
| 実績値             |  | 0      | 39    | 45    | -  | -  |   |
| 達成率             |  | -      | 81.3% | 78.9% | -  | -  |   |
| 目標値の設定根拠        | 津波や高潮から防御するため、背後地で行われるまちづくりと連携し、防災・減災機能を図りながら、海岸の災害復旧事業を、復興創生期間の令和2年度までに、全て完了させる計画としている。                                       |        |       |       |    |    |   |
| 実績値の分析          | ・災害復旧事業の完了箇所により、評価することとしている。<br>・平成30年度までに、全ての箇所で本格的な工事に着手しており、令和元年度は6海岸で事業が完成し、累計45海岸で工事を完了した。<br>・引き続き令和2年度までの完遂を目指し事業に取り組む。 |        |       |       |    |    |   |
| 全国平均値や近隣他県等との比較 | -  |        |       |       |    |    |   |

| 2               | 目標指標等名<br>(下段:説明)   | 評価対象年度 | 初期値   | H30   | R1 | R2 | - |
|-----------------|---|--------|-------|-------|----|----|---|
|                 | 比較的発生頻度の高い津波に対し、施設の防護機能が確保された河川数(河川)<br>[ストック型の指標]<br>震災により被災した河川施設の災害復旧にあたって、百数十年に一度予想される津波高に対応した施設とする。                        | 指標測定年度 | H22   | H30   | R1 | R2 | - |
| 目標値             |   | -      | 15    | 43    | 59 | -  |   |
| 実績値             |   | 0      | 10    | 15    | -  | -  |   |
| 達成率             |   | -      | 66.7% | 34.9% | -  | -  |   |
| 目標値の設定根拠        | 津波や高潮から防御するため、背後地で行われるまちづくりと連携し、防災・減災機能を図りながら、河川の災害復旧事業を、復興創生期間の令和2年度までに、全て完了させる計画としている。  |        |       |       |    |    |   |
| 実績値の分析          | ・災害復旧事業の完了箇所数により、評価することとしている。<br>・平成30年度までに、全ての箇所で本格的な工事に着手しており、令和元年度は5河川で事業が完成し、累計15河川で工事を完了した。<br>・引き続き令和2年度までの完遂を目指し事業に取り組む。 |        |       |       |    |    |   |
| 全国平均値や近隣他県等との比較 | -   |        |       |       |    |    |   |



評価対象年度 令和1年度

政策 5 施策 2

**県民意識調査結果**

| 調査実施年度<br>(調査名称) |                         | 平成29年度<br>(平成29年県民意識調査) |             | 平成30年度<br>(平成30年県民意識調査) |       | 令和1年度<br>(令和1年県民意識調査) |       |       |       |
|------------------|-------------------------|-------------------------|-------------|-------------------------|-------|-----------------------|-------|-------|-------|
| 県<br>全<br>体      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要                     | 高重視群<br>の割合 | 38.7%                   | 74.7% | 42.1%                 | 72.9% | 50.1% | 81.4% |
|                  |                         | やや重要                    |             | 36.0%                   |       |                       |       | 30.8% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない           | 低重視群<br>の割合 | 5.0%                    | 6.5%  | 5.9%                  | 7.7%  | 2.9%  | 4.2%  |
|                  |                         | 重要ではない                  |             | 1.5%                    |       |                       |       | 1.8%  |       |
|                  |                         | 分からない                   |             | 18.7%                   |       | 19.5%                 |       | 14.4% |       |
|                  |                         | 調査回答者数                  |             | 1,822                   |       | 1,921                 |       | 1,806 |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足                     | 満足群<br>の割合  | 7.5%                    | 42.9% | 8.1%                  | 42.9% | 9.1%  | 43.2% |
|                  |                         | やや満足                    |             | 35.4%                   |       |                       |       | 34.8% |       |
|                  |                         | やや不満                    | 不満群<br>の割合  | 17.3%                   | 24.0% | 16.5%                 | 22.7% | 20.7% | 29.5% |
|                  |                         | 不 満                     |             | 6.7%                    |       |                       |       | 6.2%  |       |
|                  |                         | 分からない                   |             | 33.1%                   |       | 34.4%                 |       | 27.3% |       |
|                  |                         | 調査回答者数                  |             | 1,796                   |       | 1,891                 |       | 1,775 |       |
| 沿<br>岸<br>部      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要                     | 高重視群<br>の割合 | 41.9%                   | 78.0% | 43.1%                 | 76.1% | 53.5% | 85.1% |
|                  |                         | やや重要                    |             | 36.1%                   |       |                       |       | 33.0% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない           | 低重視群<br>の割合 | 3.8%                    | 5.1%  | 6.4%                  | 8.2%  | 2.6%  | 4.3%  |
|                  |                         | 重要ではない                  |             | 1.3%                    |       |                       |       | 1.8%  |       |
|                  |                         | 分からない                   |             | 17.0%                   |       | 15.7%                 |       | 10.6% |       |
|                  |                         | 調査回答者数                  |             | 707                     |       | 719                   |       | 690   |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足                     | 満足群<br>の割合  | 7.3%                    | 42.3% | 7.8%                  | 43.5% | 9.6%  | 44.6% |
|                  |                         | やや満足                    |             | 35.0%                   |       |                       |       | 35.7% |       |
|                  |                         | やや不満                    | 不満群<br>の割合  | 18.6%                   | 26.0% | 18.8%                 | 27.3% | 21.2% | 30.8% |
|                  |                         | 不 満                     |             | 7.4%                    |       |                       |       | 8.5%  |       |
|                  |                         | 分からない                   |             | 31.7%                   |       | 29.3%                 |       | 24.6% |       |
|                  |                         | 調査回答者数                  |             | 700                     |       | 709                   |       | 678   |       |
| 内<br>陸<br>部      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要                     | 高重視群<br>の割合 | 36.7%                   | 72.6% | 41.3%                 | 71.0% | 48.2% | 79.3% |
|                  |                         | やや重要                    |             | 35.9%                   |       |                       |       | 29.7% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない           | 低重視群<br>の割合 | 5.9%                    | 7.7%  | 5.4%                  | 7.2%  | 3.1%  | 4.1%  |
|                  |                         | 重要ではない                  |             | 1.8%                    |       |                       |       | 1.8%  |       |
|                  |                         | 分からない                   |             | 19.7%                   |       | 21.8%                 |       | 16.6% |       |
|                  |                         | 調査回答者数                  |             | 1,074                   |       | 1,146                 |       | 1,071 |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足                     | 満足群<br>の割合  | 7.9%                    | 42.9% | 8.0%                  | 42.3% | 8.9%  | 42.7% |
|                  |                         | やや満足                    |             | 35.0%                   |       |                       |       | 34.3% |       |
|                  |                         | やや不満                    | 不満群<br>の割合  | 16.7%                   | 22.8% | 14.9%                 | 20.0% | 20.1% | 28.1% |
|                  |                         | 不 満                     |             | 6.1%                    |       |                       |       | 5.1%  |       |
|                  |                         | 分からない                   |             | 34.2%                   |       | 37.7%                 |       | 29.2% |       |
|                  |                         | 調査回答者数                  |             | 1,057                   |       | 1,132                 |       | 1,054 |       |

※ 沿岸部 : 沿岸15市町  
内陸部 : 沿岸部以外の市町村



|        |       |
|--------|-------|
| 評価対象年度 | 令和1年度 |
|--------|-------|

|    |   |    |   |
|----|---|----|---|
| 政策 | 5 | 施策 | 2 |
|----|---|----|---|

| 宮城県震災復興推進事業 |         |   |                        |        |   |         |                |            |    |   |
|-------------|---------|---|------------------------|--------|---|---------|----------------|------------|----|---|
| 評価番号        | 事業番号    | 事業名   | 令和1年度<br>決算見込額<br>(千円) | 事業の状況  |   |         |                |            |    |   |
|             |         | 事業主体等   | 特記事項                   | 事業概要   |   |         | 令和1年度の実施状況・成果  |            |    |   |
| 1           | 1       | 東日本大震災復興事業(漁港海岸)  | 18,703,470             | 事業概要   |   |         | 令和1年度の実施状況・成果  |            |    |   |
|             |         | 漁港の無堤区間の護岸、陸間等について整備を行う。  |                        |        | ・海岸保全施設の整備を実施(16漁港30か所)<br>・令和元年度までにおいて、9漁港10か所の防潮堤整備を完了、うち、令和元年度に新たに完了したか所は、日門漁港海岸三島地区、雄勝漁港上雄勝地区、女川漁港女川地区、波伝谷漁港波伝谷地区、塩釜漁港越の浦地区、塩釜漁港釜ノ淵地区の6か所である。 |         |                |            |    |   |
|             | 水産林政部   | ビジョン<br>取組31  | 事業の分析結果                |        |   |         | 年度別決算(見込)額(千円) |            |    |   |
|             | 漁港復興推進室 |   | ①必要性                   | ②有効性   | ③効率性  | 次年度の方向性 | H30            | R1         | R2 | - |
|             |         |   | 妥当                     | 成果があった | 効率的   | 維持      | 6,767,100      | 18,703,470 | -  | - |
| 2           | 2       | 公共土木施設災害復旧事業(海岸)  | 12,246,397             | 事業概要   |   |         | 令和1年度の実施状況・成果  |            |    |   |
|             |         | 被災した海岸保全施設を、公共土木災害復旧事業により施設復旧を行う。                                     |                        |        | ・全ての海岸において本格的な工事に着手済みであり、令和元年度は、6海岸で災害復旧工事が完了した。  |         |                |            |    |   |
|             | 土木部     | 河川課   | 事業の分析結果                |        |   |         | 年度別決算(見込)額(千円) |            |    |   |
|             |         |   | ①必要性                   | ②有効性   | ③効率性  | 次年度の方向性 | H30            | R1         | R2 | - |
|             |         |   | 妥当                     | 成果があった | 効率的   | 維持      | 5,383,126      | 12,246,397 | -  | - |
| 3           | 3       | 海岸改良事業  | 3,326,900              | 事業概要   |   |         | 令和1年度の実施状況・成果  |            |    |   |
|             |         | 被災した海岸保全施設等の機能強化を図るため、施設復旧と併せて堤防の拡幅や新設を行うとともに、津波情報提供設備や避難誘導標識等の設置を行う。 |                        |        | ・堤防工事を進捗させ、堤防の機能強化を図った。<br>・施設設計や用地買収を実施した。   |         |                |            |    |   |
|             | 土木部     | 河川課   | 事業の分析結果                |        |   |         | 年度別決算(見込)額(千円) |            |    |   |
|             |         |   | ①必要性                   | ②有効性   | ③効率性  | 次年度の方向性 | H30            | R1         | R2 | - |
|             |         |   | 妥当                     | 成果があった | 効率的   | 維持      | 216,344        | 3,326,900  | -  | - |
| 4           | 4       | 海岸管理事業  | 26,000                 | 事業概要   |   |         | 令和1年度の実施状況・成果  |            |    |   |
|             |         | 海岸保全区域及び海岸保全施設の適正な管理のため、県内一円の海岸清掃及び施設の点検修繕を行う。                        |                        |        | ・海岸保全区域内の流木処理等、県内一円の海岸清掃を実施した。<br>・灯浮標の点検及び修繕を実施し、機器の適正な状態を維持した。  |         |                |            |    |   |
|             | 土木部     | 河川課   | 事業の分析結果                |        |   |         | 年度別決算(見込)額(千円) |            |    |   |
|             |         |   | ①必要性                   | ②有効性   | ③効率性  | 次年度の方向性 | H30            | R1         | R2 | - |
|             |         |   | 妥当                     | 成果があった | 効率的   | 維持      | 32,679         | 26,000     | -  | - |
| 5           | 5       | 海岸調査事業  | 16,000                 | 事業概要   |   |         | 令和1年度の実施状況・成果  |            |    |   |
|             |         | 定期的な海浜状況の調査や海岸管理施設の調査を行う。   |                        |        | ・侵食が繰り返される海岸の海浜状況の調査のため、深浅測量を実施し、離岸堤等の機能状況の確認等を実施した。  |         |                |            |    |   |
|             | 土木部     | 河川課   | 事業の分析結果                |        |   |         | 年度別決算(見込)額(千円) |            |    |   |
|             |         |   | ①必要性                   | ②有効性   | ③効率性  | 次年度の方向性 | H30            | R1         | R2 | - |
|             |         |   | 妥当                     | 成果があった | 効率的   | 維持      | 8,400          | 16,000     | -  | - |

| 年度 | 事業区分 | 事業名              | 事業費(千円)                | 事業概要   |        |      |         | 令和1年度の実施状況・成果   |            |    |   |
|----|------|------------------|------------------------|--|--------|------|---------|---|------------|----|---|
|    |      |                  |                        | 事業の分析結果  |        |      |         | 年度別決算(見込)額(千円)  |            |    |   |
|    |      |                  |                        | ①必要性   | ②有効性   | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30   | R1         | R2 | - |
| 6  | 6    | 津波避難表示板設置事業      | 90,900                 | 地域の津波に対する防災力の向上を図るための支援として津波避難表示板の設置を行う。                             |        |      |         | ・中島地区海岸, 須崎地先海岸に津波避難表示板を設置した。   |            |    |   |
|    |      | 土木部<br>河川課       | ビジョン<br>取組31<br>地創4(4) | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 7,298   | 90,900     | -  | - |
| 7  | 7    | 公共土木施設災害復旧事業(河川) | 40,925,270             | 被災した河川保全施設を, 公共土木災害復旧事業により施設復旧を行う。                                   |        |      |         | ・全ての河川において本格的な工事に着手済みであり, 令和元年度は, 5河川で災害復旧工事が完了した。                      |            |    |   |
|    |      | 土木部<br>河川課       | ビジョン<br>取組31<br>地創4(4) | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 32,985,418  | 40,925,270 | -  | - |
| 8  | 8    | 河川改修事業           | 14,045,160             | 震災の影響による地盤沈下や集中豪雨の多発, 都市化の進展に伴う被害リスクの増大などに対し, 流域が一体となって総合的な浸水対策を行う。  |        |      |         | ・87河川で築堤や護岸工等の改修や, 河道掘削等を行い, 河道断面の確保による浸水対策を推進した。                       |            |    |   |
|    |      | 土木部<br>河川課       | ビジョン<br>取組32           | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 4,928,701   | 14,045,160 | -  | - |
| 9  | 9    | 河川改修事業(復興)       | 9,907,766              | まちづくりと連携し, 防災機能を強化した総合的な浸水対策を行う。                                     |        |      |         | ・沿岸地域の10河川で築堤や護岸工等の改修を行い, 浸水対策を推進した。                                    |            |    |   |
|    |      | 土木部<br>河川課       | ビジョン<br>取組32           | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 4,794,343   | 9,907,766  | -  | - |
| 10 | 10   | 河川総合開発事業(ダム)     | 1,369,654              | 震災の影響による地盤沈下等により, 洪水被害ポテンシャルが高まった低平地等の洪水防御対策を図るため, 建設中のダム事業の整備促進を図る。 |        |      |         | ・川内沢ダム建設事業の基本設計会議にて内容を国土交通省から承された。また, 名取市と費用負担協定を締結している市道付替工事を実施した。     |            |    |   |
|    |      | 土木部<br>河川課       | ビジョン<br>取組32           | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 635,608   | 1,369,654  | -  | - |
| 11 | 11   | 河川管理事業           | 4,878,764              | 適切な河川堤防の管理を確保するため, 堤防除草や支障木伐採, 流下障害部解消に取り組む。                         |        |      |         | ・管理河川(325河川)を適正に管理できた。<br>・市街地等の重要区間において, 堤防除草, 堆積土砂撤去, 支障木伐採を集中的に実施した。 |            |    |   |
|    |      | 土木部<br>河川課       | ビジョン<br>取組32           | 妥当   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 2,065,294   | 4,878,764  | -  | - |

| 12              | 12           | 砂防設備等緊急改築事業<br>総合的な土砂災害対策事業(ハード整備事業)3/3 | 374,571   | 事業概要  |      |         |                | 令和1年度の実施状況・成果   |    |   |  |
|-----------------|--------------|---|-----------|---|------|---------|----------------|---|----|---|--|
|                 |              |   |           | 地域の安全性を向上させるため、既存の砂防設備及び地すべり防止施設について緊急改築を行う。                      |      |         |                | ・既存施設の調査及び改築が必要な施設の設計,工事を実施し,新基準への対応を進めた。(北上川圏域,名取川圏域,阿武隈川圏域)。                                  |    |   |  |
| 12              | 土木部<br>防災砂防課 | ビジョン<br>取組32                            | 事業の分析結果   |   |      |         | 年度別決算(見込)額(千円) |   |    |   |  |
|                 |              |   | ①必要性      | ②有効性  | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30            | R1  | R2 | - |  |
|                 |              |   | 妥当        | 成果があった  | 効率的  | 拡充      | 92,612         | 374,571   | -  | - |  |
| 13              | 13           | 総合的な土砂災害対策事業(ソフト対策事業)                   | 784,001   | 事業概要  |      |         |                | 令和1年度の実施状況・成果   |    |   |  |
|                 |              |   |           | 予防減災対策として土砂災害警戒区域等の指定を推進するとともに,警戒避難基準雨量提供システムなどの情報提供の機能拡充を図る。     |      |         |                | ・土砂災害警戒区域等の指定(累計5,408か所→6,274か所)  |    |   |  |
| 13              | 土木部<br>防災砂防課 | ビジョン<br>取組32                            | 事業の分析結果   |   |      |         | 年度別決算(見込)額(千円) |   |    |   |  |
|                 |              |   | ①必要性      | ②有効性  | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30            | R1  | R2 | - |  |
|                 |              |   | 妥当        | 成果があった  | 効率的  | 拡充      | 871,209        | 784,001   | -  | - |  |
| 14              | 14           | 砂防事業<br>総合的な土砂災害対策事業(ハード整備事業)1/3        | 6,976,557 | 事業概要  |      |         |                | 令和1年度の実施状況・成果   |    |   |  |
|                 |              |   |           | 流域における荒廃地域の保全及び土石流等の土砂災害から,下流部の人家,耕地,公共施設等を守るため,砂防えん堤等の砂防設備を整備する。 |      |         |                | ・砂防えん堤等の砂防設備の整備を実施している(3か所)。(累計240か所→240か所)<br>※砂防えん堤等の砂防設備の整備を3か所継続実施しているが完成施設はないため累計箇所数に変更無し。 |    |   |  |
| 14              | 土木部<br>防災砂防課 | ビジョン<br>取組32                            | 事業の分析結果   |   |      |         | 年度別決算(見込)額(千円) |   |    |   |  |
|                 |              |   | ①必要性      | ②有効性  | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30            | R1  | R2 | - |  |
|                 |              |   | 妥当        | 成果があった  | 効率的  | 拡充      | 1,180,413      | 6,976,557   | -  | - |  |
| 15              | 15           | 急傾斜地崩壊対策事業<br>総合的な土砂災害対策事業(ハード整備事業)2/3  | 771,327   | 事業概要  |      |         |                | 令和1年度の実施状況・成果   |    |   |  |
|                 |              |   |           | 急傾斜地の崩壊による災害から人命保護及び国土の保全を図るため,急傾斜地崩壊防止施設を設置する。                   |      |         |                | ・急傾斜地崩壊防止施設の整備を実施している(7か所)。(累計359か所→359か所)<br>※急傾斜地崩壊防止施設の整備を7か所継続実施しているが完成施設はないため累計箇所数に変更無し。   |    |   |  |
| 15              | 土木部<br>防災砂防課 | ビジョン<br>取組32                            | 事業の分析結果   |   |      |         | 年度別決算(見込)額(千円) |   |    |   |  |
|                 |              |   | ①必要性      | ②有効性  | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30            | R1  | R2 | - |  |
|                 |              |   | 妥当        | 成果があった  | 効率的  | 拡充      | 260,609        | 771,327   | -  | - |  |
| 16              | 16           | 砂防事業(維持修繕事業)                            | 570,167   | 事業概要  |      |         |                | 令和1年度の実施状況・成果   |    |   |  |
|                 |              |   |           | がけ崩れや土石流等の災害時に,砂防関係施設の機能を確保するため,適切な維持管理を行う。                       |      |         |                | ・県が管理する施設のバトロール,支障木の伐採等の維持管理及び被災箇所等の修繕等を実施し,管理施設を適正に管理できた。                                      |    |   |  |
| 16              | 土木部<br>防災砂防課 | ビジョン<br>取組32                            | 事業の分析結果   |   |      |         | 年度別決算(見込)額(千円) |   |    |   |  |
|                 |              |   | ①必要性      | ②有効性  | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30            | R1  | R2 | - |  |
|                 |              |   | 妥当        | 成果があった  | 効率的  | 維持      | 403,043        | 570,167   | -  | - |  |
| 17              | 17           | 沿岸域景観再生復興事業(貞山運河再生・復興ビジョン関係)            | 13,000    | 事業概要  |      |         |                | 令和1年度の実施状況・成果   |    |   |  |
|                 |              |   |           | 景観の再生を沿川地域の復興のシンボルとするべく,沿川に桜等の植樹を地元・民間企業・ボランティア等により協働で実施する。       |      |         |                | ・植樹実施(N=173本)<br>・令和2年3月に名取市閑上地区において桜植樹を行った。  |    |   |  |
| 17              | 土木部<br>河川課   | ビジョン<br>取組30<br>地創4(1)                  | 事業の分析結果   |   |      |         | 年度別決算(見込)額(千円) |   |    |   |  |
|                 |              |   | ①必要性      | ②有効性  | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30            | R1  | R2 | - |  |
|                 |              |   | 妥当        | 成果があった  | 効率的  | 維持      | 5,424          | 13,000  | -  | - |  |
| 決算(見込)額計        |              | 115,025,904                             |           |   |      |         |                |   |    |   |  |
| 決算(見込)額計(再掲分除き) |              | 115,025,904                             |           |   |      |         |                |   |    |   |  |



|                   |       |                           |  |                            |                |    |   |
|-------------------|-------|---------------------------|--|----------------------------|----------------|----|---|
| 評価対象年度            | 令和1年度 | <b>施策評価シート(震災復興用)</b>     |  | 政策                         | 5              | 施策 | 3 |
| 施策名               |       | 3 上下水道などのライフラインの整備        |  | 施策担当<br>部局                 | 環境生活部, 企業局     |    |   |
| 「宮城県震災復興計画」における体系 | 政策名   | 5 公共土木施設の早期復旧<br>【公共土木施設】 |  | 評価担当<br>部局<br>(作成担当<br>課室) | 企業局<br>(水道経営課) |    |   |

|   |   |
|---|---|
| <b>施策の方向</b><br>(「宮城の<br>将来ビジョン<br>・震災復興<br>・地方創生       ) | 1 下水道の整備  |
|   | ◇ 流域下水道においては、ストックマネジメント支援制度に基づく計画の策定や下水道施設の補修・修繕を実施し、施設の老朽化対策や延命化によるコスト削減を図り、耐震化等の機能向上を含めた長寿命化対策を計画的に推進します。<br>2 広域水道, 工業用水道の整備<br>◇ 広域水道及び工業用水道の安定供給を図るため、耐震化及び緊急時のバックアップ機能を担う連絡管の整備促進を図ります。 |

| 決算(見込)額<br>(千円) | 年度   | 平成30年度<br>(決算(見込)額) | 令和1年度<br>(決算(見込)額) | 令和2年度<br>(決算(見込)額) | - |
|-----------------|------|---------------------|--------------------|--------------------|---|
|                 | 県事業費 | 3,043,527           | 8,016,716          | -                  | - |

※決算(見込)額は再掲分含む

|  |   |                               |                          |                          |                          |                     |                           |
|--|---|-------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------|---------------------------|
| <b>目標指標等</b><br>■達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」<br>C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」<br>■達成率(%) フロー型の指標: 実績値 / 目標値 スtock型の指標: (実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値)<br>目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値 - 実績値) / (初期値 - 目標値) |   | 初期値<br>(指標測定年度)               | 目標値<br>(指標測定年度)          | 実績値<br>(指標測定年度)          | 達成度<br>達成率               | 計画期間目標値<br>(指標測定年度) |                           |
|  | 1 | 緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率(%) | 0.0%<br>(平成25年度)         | 100.0%<br>(令和元年度)        | 83.8%<br>(令和元年度)         | B<br>83.8%          | 100.0%<br>(令和2年度)         |
|  | 2 | 流域下水道における長寿命化対策設備数(箇所)[累計]    | 9箇所<br>(21%)<br>(平成29年度) | 25箇所<br>(59%)<br>(令和元年度) | 25箇所<br>(59%)<br>(令和元年度) | A<br>100.0%         | 42箇所<br>(100%)<br>(令和2年度) |

| 令和1年県民意識調査 | 満足群の割合<br>(満足+やや満足) | 不満群の割合<br>(やや不満+不満) | 満足群・不満群<br>の割合による<br>区分 |
|------------|---------------------|---------------------|-------------------------|
|            | 46.2%               | 20.0%               | II                      |

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合40%以上  
かつ不満群の割合20%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合40%未満  
かつ不満群の割合20%以上

| ■ 施策評価（原案）   |   | 概ね順調 |
|--------------|---|------|
| <b>評価の理由</b> |   |      |
| 目標指標等        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標1の「緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率」は、達成率83.8%であり、達成度は「B」に区分される。なお、進捗率の算出は予算ベースで行っているが、全体事業費の増額変更及び事業期間の延伸により、前年比0.1%の微増となっているものである。</li> <li>・目標指標2の「流域下水道における長寿命化対策設備数(箇所)」は、25か所について長寿命化を図ることができたことから達成率は100%であり、達成度は「A」に区分される。</li> </ul>   |      |
| 県民意識         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道などのライフラインの復旧や施設等の耐震化及びバックアップ機能の整備等については、身近な問題として県全体では高重視群が79.6%となっている。施策に対する満足群については46.2%と県全体のおよそ半数となっており、不満群については20.0%となっている。</li> </ul>   |      |
| 社会経済情勢       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業について、東日本大震災により被災した県管理の流域下水道事業は、平成25年度までに本復旧が完了した。</li> <li>・上水道事業について、東日本大震災により被災した県管理の水道用水供給事業、工業用水道事業は、平成24年度までに本復旧が完了したが、沿岸部の市町管理の上水道施設においては、復興まちづくり事業等との進捗に合わせた調整が必要であることから、未だ復旧が完了していない地域もあり、早期の復旧が望まれている。</li> <li>・県管理の流域下水道事業、水道用水供給事業、工業用水道事業については、今後の地震に対する耐震化対策等や長寿命化対策が望まれている。</li> <li>・今後、給水収益の減少や更新費用の増大などで厳しい経営環境となることが想定されることから、持続可能な経営を確立するため、上工下3事業を一体として官民連携により運営する「みやぎ型管理運営方式」の導入の検討を進め、令和2年3月には民間事業者の公募を開始した。</li> </ul> |      |
| 事業の成果等       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「①下水道の整備」では、流域下水道施設の長寿命化対策として、石巻浄化センターの計装設備や河北桃生幹線管渠施設等25箇所の改築・更新を実施した。</li> <li>・「②広域水道、工業用水道の整備」では、広域水道・工業用水道基幹施設の耐震化事業として、仙南・仙塩広域水道事業の沈殿・ろ過池の耐震化工事に着手したほか、変位が発生している伸縮可とう管の補強工事を実施した。また、広域水道の緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業では、志賀姥ヶ懐トンネル内の配管工事や制御室2箇所の築造工事が完了したほか、新たに約3.1kmの送水管の布設が完了し、さらに、約1.8kmの工事に着手した。着手ベースの進捗率は87%と令和3年度の完了に向け概ね順調である。</li> <li>・以上、目標指標の達成状況や、施策の方向1及び2において、取り組みが着実に進められていることから、当施策においては「概ね順調」と評価した。</li> </ul>                      |      |

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

| <b>施策を推進する上での課題と対応方針（原案）</b>   |   |
|--|---|
| 課題   | 対応方針  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・流域下水道、広域水道、工業用水道の復旧は完了したが、市町所管の上下水道施設においては、復旧が完了していない箇所もあることから、今後も継続的な復旧支援の取組が必要である。</li> <li>・復旧が完了した施設及び被害を受けなかった施設についても、今後の地震動に対する耐震化対策等の整備が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町所管の上水道施設については、被災市町、厚生労働省、県の三者による復旧復興状況に係る意見交換会や現地確認の実施により、現況を把握し、復旧復興に係る課題を整理・共有すると共に、施設設備等の復旧に係る技術的助言や、国庫補助事務に係る指導助言などの支援を実施してきており、今後も復旧事業の完了に向けて継続的な支援を行っていく。</li> <li>・市町所管の下水道施設については、事業の遅延要因等の把握のため、市町や現場に向き、課題解決に取り組むとともに設計変更に係る国との計画的な協議などの支援を実施してきており、今後も復旧事業の完了に向けて事業進捗管理を徹底し継続的な支援を行っていく。</li> <li>・施設の耐震化対策や延命化対策により施設の機能向上を計画的に実施する。また、緊急時におけるバックアップ機能対策について整備促進を図る。</li> </ul> |

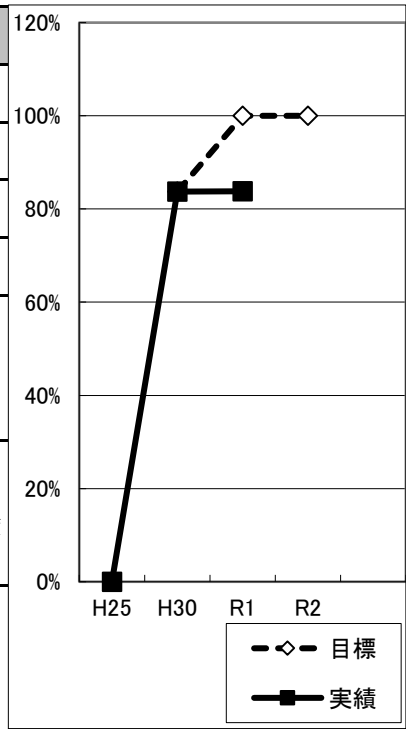
評価対象年度 令和1年度

政策 5 施策 3

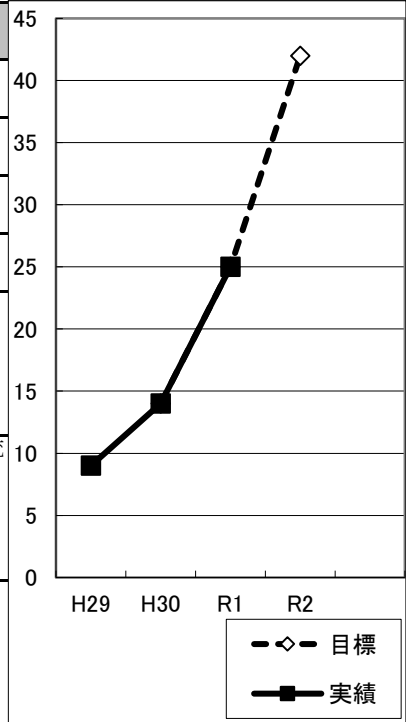
目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 スtock型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

| 1               | 目標指標等名<br>(下段:説明)  | 評価対象年度 | 初期値  | H30    | R1     | R2     | - |
|-----------------|--|--------|------|--------|--------|--------|---|
|                 | 緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率(%)<br>[ストック型の指標]  | 指標測定年度 | H25  | H30    | R1     | R2     | - |
|                 |  | 目標値    | -    | 83.7%  | 100.0% | 100.0% | - |
|                 |  | 実績値    | 0.0% | 83.7%  | 83.8%  | -      | - |
|                 |  | 達成率    | -    | 100.0% | 83.8%  | -      | - |
| 目標値の設定根拠        | ・目標指標である進捗率は予算ベースとしているが、既施工箇所において、地盤条件の変更等により全体事業費が増額となっていることから、全体事業費を変更している。また、当初、令和2年度までに事業の完了を目指すこととしていたが、関係機関との協議に時間を要したことから、令和3年度の完了目標に変更を行った。<br>【変更後目標値 令和元年度:83.8%, 令和2年度:91.8%, 令和3年度:100%】 |        |      |        |        |        |   |
| 実績値の分析          | ・令和元年度の進捗率は83.8%と前年比0.1%の微増であるが、全体事業費の変更及び事業期間の延伸によるものである。<br>・延長ベースでは、令和元年度に新たに1.8kmで着手し、繰越工事を含めた3.1kmが完成した。完成延長による進捗率は74%、着手延長による進捗率は87%となっており、令和3年度の事業完了に向け概ね順調である。                               |        |      |        |        |        |   |
| 全国平均値や近隣他県等との比較 | -  |        |      |        |        |        |   |



| 2               | 目標指標等名<br>(下段:説明)  | 評価対象年度 | 初期値      | H30       | R1        | R2         | - |
|-----------------|--|--------|----------|-----------|-----------|------------|---|
|                 | 流域下水道における長寿命化対策設備数(箇所)[累計]<br>[ストック型の指標]   | 指標測定年度 | H29      | H30       | R1        | R2         | - |
|                 |  | 目標値    | -        | 14箇所(33%) | 25箇所(59%) | 42箇所(100%) | - |
|                 |  | 実績値    | 9箇所(21%) | 14箇所(33%) | 25箇所(59%) | -          | - |
|                 |  | 達成率    | -        | 100.0%    | 100.0%    | -          | - |
| 目標値の設定根拠        | 下水道施設を健全に運用していくために、計画的に施設の長寿命化・更新工事を実施する。  |        |          |           |           |            |   |
| 実績値の分析          | 令和元年度は、長寿命化計画に基づき北上川下流流域の計装設備や北上川下流東部流域下水道の河北桃生幹線管渠等の長寿命化・更新工事を実施し、25箇所が完成したことから、達成率は100%となった。 |        |          |           |           |            |   |
| 全国平均値や近隣他県等との比較 | -  |        |          |           |           |            |   |



評価対象年度 令和1年度

政策 5 施策 3

| 県民意識調査結果         |                         |               |                         |       |                         |       |                       |       |       |
|------------------|-------------------------|---------------|-------------------------|-------|-------------------------|-------|-----------------------|-------|-------|
| 調査実施年度<br>(調査名称) |                         |               | 平成29年度<br>(平成29年県民意識調査) |       | 平成30年度<br>(平成30年県民意識調査) |       | 令和1年度<br>(令和1年県民意識調査) |       |       |
| 県<br>全<br>体      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要           | 高重視群<br>の割合             | 35.9% | 74.7%                   | 43.6% | 76.0%                 | 46.0% | 79.6% |
|                  |                         | やや重要          |                         | 38.8% |                         | 32.4% |                       | 33.6% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない | 低重視群<br>の割合             | 4.6%  | 5.5%                    | 4.5%  | 5.3%                  | 3.8%  | 5.0%  |
|                  |                         | 重要ではない        |                         | 0.9%  |                         | 0.8%  |                       | 1.2%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 19.7% |                         | 18.6% |                       | 15.4% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,792 |                         | 1,902 |                       | 1,799 |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足           | 満足群<br>の割合              | 8.8%  | 44.8%                   | 8.9%  | 45.4%                 | 9.1%  | 46.2% |
|                  |                         | やや満足          |                         | 36.0% |                         | 36.5% |                       | 37.1% |       |
|                  |                         | やや不満          | 不満群<br>の割合              | 12.8% | 17.4%                   | 13.3% | 17.8%                 | 14.5% | 20.0% |
|                  |                         | 不満            |                         | 4.6%  |                         | 4.5%  |                       | 5.5%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 37.7% |                         | 36.7% |                       | 33.8% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,767 |                         | 1,879 |                       | 1,776 |       |
| 沿<br>岸<br>部      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要           | 高重視群<br>の割合             | 38.3% | 77.2%                   | 43.6% | 78.3%                 | 47.8% | 79.3% |
|                  |                         | やや重要          |                         | 38.9% |                         | 34.7% |                       | 31.5% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない | 低重視群<br>の割合             | 4.0%  | 4.9%                    | 4.0%  | 4.7%                  | 3.7%  | 5.2%  |
|                  |                         | 重要ではない        |                         | 0.9%  |                         | 0.7%  |                       | 1.5%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 17.9% |                         | 17.1% |                       | 15.5% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 697   |                         | 707   |                       | 682   |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足           | 満足群<br>の割合              | 9.4%  | 47.1%                   | 9.3%  | 46.5%                 | 10.5% | 46.1% |
|                  |                         | やや満足          |                         | 37.7% |                         | 37.2% |                       | 35.6% |       |
|                  |                         | やや不満          | 不満群<br>の割合              | 12.4% | 16.6%                   | 13.6% | 17.9%                 | 12.9% | 19.4% |
|                  |                         | 不満            |                         | 4.2%  |                         | 4.3%  |                       | 6.5%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 36.4% |                         | 35.7% |                       | 34.4% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 693   |                         | 701   |                       | 674   |       |
| 内<br>陸<br>部      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要           | 高重視群<br>の割合             | 34.1% | 72.9%                   | 43.2% | 74.7%                 | 45.1% | 79.7% |
|                  |                         | やや重要          |                         | 38.8% |                         | 31.5% |                       | 34.6% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない | 低重視群<br>の割合             | 5.1%  | 6.0%                    | 4.8%  | 5.6%                  | 4.0%  | 5.0%  |
|                  |                         | 重要ではない        |                         | 0.9%  |                         | 0.8%  |                       | 1.0%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 21.0% |                         | 19.7% |                       | 15.2% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,056 |                         | 1,139 |                       | 1,072 |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足           | 満足群<br>の割合              | 8.4%  | 43.0%                   | 8.7%  | 44.5%                 | 8.2%  | 46.2% |
|                  |                         | やや満足          |                         | 34.6% |                         | 35.8% |                       | 38.0% |       |
|                  |                         | やや不満          | 不満群<br>の割合              | 13.1% | 17.9%                   | 13.1% | 17.8%                 | 15.7% | 20.4% |
|                  |                         | 不満            |                         | 4.8%  |                         | 4.7%  |                       | 4.7%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 39.1% |                         | 37.7% |                       | 33.4% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,038 |                         | 1,125 |                       | 1,059 |       |

※ 沿岸部 : 沿岸15市町  
内陸部 : 沿岸部以外の市町村



|        |       |
|--------|-------|
| 評価対象年度 | 令和1年度 |
|--------|-------|

|    |   |    |   |
|----|---|----|---|
| 政策 | 5 | 施策 | 3 |
|----|---|----|---|

| 宮城県震災復興推進事業    |                      |                     |                        |                                   |           |         |   |    |    |   |
|----------------|----------------------|---------------------|------------------------|-----------------------------------|-----------|---------|---|----|----|---|
| 評価番号           | 事業番号                 | 事業名                 | 令和1年度<br>決算見込額<br>(千円) | 事業の状況                             |           |         |   |    |    |   |
|                |                      | 事業主体等               | 特記事項                   | 事業概要                              |           |         | 令和1年度の実施状況・成果   |    |    |   |
| 1              | 1                    | 流域下水道事業             | 1,916,639              | 事業概要                              |           |         | 令和1年度の実施状況・成果   |    |    |   |
|                |                      |                     |                        | 老朽化した流域下水道施設を計画的に改築・更新する。         |           |         | ・計画に基づき、北上川下流域の計装設備や河南幹線管渠の改築更新をはじめ、仙塩流域の汚泥焼却設備、阿武隈川下流域の阿武隈川幹線管渠の改築更新工事を実施した。             |    |    |   |
|                | 企業局<br>水道経営課         | ビジョン<br>取組30        | 事業の分析結果                |                                   |           |         | 年度別決算(見込)額(千円)  |    |    |   |
|                |                      |                     | ①必要性                   | ②有効性                              | ③効率性      | 次年度の方向性 | H30   | R1 | R2 | - |
| 妥当             | 成果があった               | 効率的                 | 維持                     | 1,490,589                         | 1,916,639 | -       | -   |    |    |   |
| 2              | 2                    | 水道施設災害復旧事業          | 79                     | 事業概要                              |           |         | 令和1年度の実施状況・成果   |    |    |   |
|                |                      |                     |                        | 震災で被害を受けた市町村所管の水道施設の復旧を支援する。      |           |         | ・特に被害が大きく復旧計画の総合的な調整が必要なため、「協議設計」箇所として実施が保留されている沿岸市町の復旧事業のうち、協議が整った39事業で約52億円の保留を解除した。    |    |    |   |
|                | 環境生活部<br>食と暮らしの安全推進課 |                     | 事業の分析結果                |                                   |           |         | 年度別決算(見込)額(千円)  |    |    |   |
|                |                      |                     | ①必要性                   | ②有効性                              | ③効率性      | 次年度の方向性 | H30   | R1 | R2 | - |
| 妥当             | 成果があった               | 効率的                 | 維持                     | 96                                | 79        | -       | -   |    |    |   |
| 3              | 3                    | 工業用水道基幹施設耐震化等事業     | 161,069                | 事業概要                              |           |         | 令和1年度の実施状況・成果   |    |    |   |
|                |                      |                     |                        | 基幹水道施設の耐震化工事や緊急時のバックアップ用施設の整備を行う。 |           |         | ・仙塩工業用水道事業伸縮可とう管補強工事が完了した。<br>・仙台圏工業用水道事業伸縮可とう管補強工事が完了した。<br>・仙台北部工業用水道事業伸縮可とう管補強工事が完了した。 |    |    |   |
|                | 企業局<br>水道経営課         |                     | 事業の分析結果                |                                   |           |         | 年度別決算(見込)額(千円)  |    |    |   |
|                |                      |                     | ①必要性                   | ②有効性                              | ③効率性      | 次年度の方向性 | H30   | R1 | R2 | - |
| 妥当             | 成果があった               | 効率的                 | 維持                     | 195,736                           | 161,069   | -       | -   |    |    |   |
| 4              | 4                    | 広域水道緊急時バックアップ体制整備事業 | 5,861,962              | 事業概要                              |           |         | 令和1年度の実施状況・成果   |    |    |   |
|                |                      |                     |                        | 緊急時におけるバックアップ用の連絡管の整備を行う。         |           |         | ・仙南・仙塩広域水道送水連絡管事業において、制御室2か所を築造した。  |    |    |   |
|                | 企業局<br>水道経営課         |                     | 事業の分析結果                |                                   |           |         | 年度別決算(見込)額(千円)  |    |    |   |
|                |                      |                     | ①必要性                   | ②有効性                              | ③効率性      | 次年度の方向性 | H30   | R1 | R2 | - |
| 妥当             | 成果があった               | 効率的                 | 維持                     | 957,689                           | 5,861,962 | -       | -   |    |    |   |
| 5              | 5                    | 広域水道基幹施設耐震化事業       | 76,967                 | 事業概要                              |           |         | 令和1年度の実施状況・成果   |    |    |   |
|                |                      |                     |                        | 調整池や浄水場等の基幹水道構造物を耐震化する。           |           |         | ・仙南・仙塩広域水道において、沈殿池・ろ過池耐震補強工事を開始した。  |    |    |   |
|                | 企業局<br>水道経営課         |                     | 事業の分析結果                |                                   |           |         | 年度別決算(見込)額(千円)  |    |    |   |
|                |                      |                     | ①必要性                   | ②有効性                              | ③効率性      | 次年度の方向性 | H30   | R1 | R2 | - |
| 妥当             | 成果があった               | 効率的                 | 維持                     | 399,417                           | 76,967    | -       | -   |    |    |   |
| 決算(見込)額計       |                      |                     | 8,016,716              |                                   |           |         |   |    |    |   |
| 決算(見込)額計(再掲除き) |                      |                     | 8,016,716              |                                   |           |         |   |    |    |   |



|                   |       |                           |  |                            |                  |    |   |
|-------------------|-------|---------------------------|--|----------------------------|------------------|----|---|
| 評価対象年度            | 令和1年度 | <b>施策評価シート(震災復興用)</b>     |  | 政策                         | 5                | 施策 | 4 |
| 施策名               |       | 4 沿岸市町をはじめとするまちの再構築       |  | 施策担当<br>部局                 | 震災復興・企画部、<br>土木部 |    |   |
| 「宮城県震災復興計画」における体系 |       | 5 公共土木施設の早期復旧<br>【公共土木施設】 |  | 評価担当<br>部局<br>(作成担当<br>課室) | 土木部<br>(都市計画課)   |    |   |

|  |   |
|--|---|
| <b>施策の方向</b><br>(「宮城の<br>将来ビジョン<br>・震災復興<br>・地方創生<br>実施計画」の<br>行動方針) | 1 まちづくりと多様な施策との連携<br>◇ 津波被害を受けた沿岸市町において、住民が震災前よりも確実に安全に暮らすことができるよう防災機能が強化された都市構造への転換を図るとともに、地域産業や地域経済の一層の活性化につなげる新たなまちづくり支援や防災公園整備など公共土木施設の整備を推進します。<br>◇ 新たなまちづくりに併せて、教育や医療・福祉などの各種施設などについて、利用者の利便性ととも、地域におけるコミュニティの再構築などにも配慮した、適切な配置を促進します。また、地域交通の再構築や地域の将来像に応じた景観形成への支援を行います。<br>◇ 大規模災害時には迅速かつ的確に災害応急活動を実施し、県民を災害から守るための活動拠点として機能し、平常時には自然豊かな県民の憩いの場となる都市公園(広域防災拠点)の整備を推進します。<br>◇ 東日本大震災により亡くなられた方々への追悼と鎮魂や震災の教訓を伝承する震災復興祈念公園の整備を推進します。<br>◇ 防災集団移転促進事業の移転元地の土地利用について、市町の計画策定や事業実施を支援します。 |
|--|---|

| 決算(見込)額<br>(千円) | 年度   | 平成30年度<br>(決算(見込)額) | 令和1年度<br>(決算(見込)額) | 令和2年度<br>(決算(見込)額) | - |
|-----------------|------|---------------------|--------------------|--------------------|---|
|                 | 県事業費 | 29,834,053          | 57,410,602         | -                  | - |

※決算(見込)額は再掲分含む

| <b>目標指標等</b>                             | <b>■達成度</b> A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」<br>C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」 |                              |                              |                 |                               |                     |
|--|--|------------------------------|------------------------------|-----------------|-------------------------------|---------------------|
|  | <b>■達成率(%)</b> フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)<br>目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)                        |                              |                              |                 |                               |                     |
|  |  | 初期値<br>(指標測定年度)              | 目標値<br>(指標測定年度)              | 実績値<br>(指標測定年度) | 達成度<br>達成率                    | 計画期間目標値<br>(指標測定年度) |
|  | 1 防災公園事業の完了数(箇所)[累計]   | 0箇所<br>(平成23年度)              | 15箇所<br>(令和元年度)              | 15箇所<br>(令和元年度) | A 100.0%                      | 21箇所<br>(令和2年度)     |
| 2 住宅等建築が可能となった被災市街地復興土地区画整理事業地区数(地区)[累計] | 1地区<br>(平成25年度)  | 35地区<br>(令和元年度)              | 34地区<br>(令和元年度)              | B 97.1%         | 35地区<br>(令和元年度)               |                     |
| 3 住宅等建築が可能となった防災集団移転促進事業地区数(地区)[累計]      | 12地区<br>(6.2%)<br>(平成25年度)   | 195地区<br>(100.0%)<br>(令和元年度) | 195地区<br>(100.0%)<br>(令和元年度) | A 100.0%        | 195地区<br>(100.0%)<br>(平成30年度) |                     |

| 令和1年県民意識調査 | 満足群の割合<br>(満足+やや満足) | 不満群の割合<br>(やや不満+不満) | 満足群・不満群の割合による区分 |
|------------|---------------------|---------------------|-----------------|
|            | 44.5%               | 19.2%               | I               |

※満足群・不満群の割合による区分  
 I: 満足群の割合40%以上  
 かつ不満群の割合20%未満  
 II: 「I」及び「III」以外  
 III: 満足群の割合40%未満  
 かつ不満群の割合20%以上

| ■ 施策評価（原案）   | 概ね順調   |
|--------------|--|
| <b>評価の理由</b> |  |
| 目標指標等        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標1の「防災公園事業の完了数」(箇所)[累計]については、事業予定箇所で開催協議や用地交渉などに時間を要していたが、令和元年度末までに15地区において完了したことから、達成率100.0%で達成度「A」に区分される。</li> <li>・目標指標2の「住宅等建築が可能となった被災市街地復興土地区画整理事業地区数(地区)[累計]」は、地域住民との合意形成や関係機関との調整を図りながら事業を進めてきた結果、令和元年度は34地区となり、達成率は97.1%に留まったことから達成度は「B」に区分される。</li> <li>・目標指標3の「住宅等建築が可能となった防災集団移転促進事業地区数(地区)[累計]」については、目標とする195地区に対し、平成30年度に195地区全箇所にて住宅等建築が可能となったことから、達成率100%で達成度「A」に区分される。</li> </ul>  |
| 県民意識         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年県民意識調査から、本施策に対する重視度においては、「高重視群」の割合が県全体で72.5%と、平成30年調査より2.6ポイント増加している。</li> <li>・満足度においては、県全体では「満足群」の割合が44.5%、「不満群」の割合が19.2%となっており、平成30年調査と比較し満足群が4.9ポイント増加し、不満群が0.9ポイント減少した結果となった。沿岸部の「満足群」の割合は46.3%、「不満群」の割合は21.1%となっている。また、内陸部においては、「満足群」の割合は43.2%、「不満群」の割合は17.9%となっている。</li> <li>・前年調査と比較すると、沿岸部、内陸部ともに満足群の割合が増加したのに対し不満群の割合が減少した結果となった。</li> <li>・未だ沿岸部では不満群の割合が20%を超えていることから、引き続き取組の加速化が求められていると考えられる。</li> </ul>   |
| 社会経済情勢       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年3月末現在の住家被害は、全壊83,005棟、半壊155,130棟にのぼり、県内の応急仮設住宅には未だ82人(ピーク時の約0.06%)の方々がおり、安全な場所での住宅の供給が必要となっている。</li> <li>・東日本大震災復興特別区域法に基づき創設された復興交付金により、県及び市町村は復興に向けた事業の推進を鋭意行っている。</li> <li>・東日本大震災からの復興へ向け、「宮城県震災復興計画」を平成23年10月に策定したほか土木・建築行政分野における部門別計画である「宮城県社会資本再生・復興計画」を同年10月に策定して、土木部が所管する全ての事業について目標を示し、早期の復旧・復興に向け、その着実な推進と進行管理を図ることとしている。また、平成31年3月には、宮城県震災復興計画の「発展期」において、各年度の行財政運営を着実に推進するため、中期的なアクションプランとして策定した「宮城の将来ビジョン・震災復興・地方創生実施計画(発展期:平成30年度～32年度)」を改訂した。</li> </ul>  |
| 事業の成果等       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災公園事業は、県及び市町で実施する事業であり、各自自治体の防災計画や土地利用計画により避難想定が大きく変わるため、施設整備にあたっては各種条件の整理や関係機関との協議などに時間を要していたが、平成29年度に事業箇所21箇所全てで事業着手し、令和元年度は目標値の「防災公園事業の完了数15か所」に対し、計画どおりに15か所で事業完了した。</li> <li>・被災市街地復興土地区画整理事業は、市町主体で実施する事業であり、令和元年度目標値を「住宅等建築が可能となった被災市街地復興土地区画整理事業地区数35地区」と設定したが、地域住民との合意形成や関係機関との調整を図りながら事業を進めてきた結果、令和元年度までに34地区で住宅等建築が可能となった。残る1地区については令和元年度中に住宅等建築可能に向け鋭意事業を進めてきたが、関連工事との調整に不測の時間を要したことから、令和2年度中に住宅等建築工事可能となる予定である。</li> <li>・防災集団移転促進事業は、住民の居住に適当でないと認められる区域内にある住居の集団の移転を促進するため、県は事業主体である各市町村を支援するものであり、平成30年度中に全195地区のうち195地区で住宅等の建築が可能となり順調に推移している。</li> <li>・津波復興拠点整備事業については、令和元年度は3地区において事業が完了し、県内の事業完了数は約83%となる10地区となったことから、防災機能が強化された都市構造への転換が着実に進められている。</li> <li>・大規模災害時の活動拠点として整備する広域防災拠点整備事業においては、公園整備の前提となる岩切地区貨物駅移転に必要な侵入路等の補償契約を締結するとともに、宮城野原地区において詳細設計に向け庁内関係課と施設規模等の調整を実施し、事業進捗を図っている。</li> <li>・震災復興祈念公園整備においては、関係機関との調整を行いながら全ての施設整備工事を発注し、令和2年度の供用開始に向けて事業を推進している。</li> <li>・被災した沿岸市町の復興まちづくり事業の支援のため復興交付金事業計画の策定、採択に向け、国との調整や勉強会(1回)や出前講座(全7回)を実施したほか、震災被災地の復興状況に継続的な関心を寄せてもらうため、県内及び県外4県で復興まちづくりパネル展を全7回開催し、被災地の現在の姿について情報発信を行った。また、復興まちづくり事業の検証の視点や項目の整理と併せて基礎的なデータを収集し、復興まちづくりの検証を進めた。</li> <li>・各種施設の適正配置の促進や、地域の将来像に応じた景観形成の支援については、被災市街地復興土地区画整理事業地区数および防災集団移転促進事業地区数の目標指標において、土地利用計画に基づいた建築可能地区数を把握しており、概ね目標値は達成されていることから、順調に推移している。</li> <li>・以上のことから、目標指標3つのうち「住宅等建築が可能となった被災市街地復興土地区画整理事業地区数(地区)[累計]」で目標を達成しなかったものの、県民意識調査の結果「満足群」の割合が44.5%と40%を超え「不満群」の割合が19.2%と20%以下であり区分Ⅰに位置づけられることから、施策全体としては「概ね順調」と評価した。</li> </ul> |

※ 評価の視点: 目標指標等, 県民意識, 社会経済情勢, 事業の実績及び成果等から見て, 施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で, 総合的に施策の成果を評価する。

## 施策を推進する上での課題と対応方針（原案）

| 課題   | 対応方針   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿岸市町で進めている復興まちづくりの完遂に向け、関係機関調整など引き続き被災市町を支援していく必要がある。</li> <li>・復興後を見据えた持続可能なまちづくりに向け、被災市町に対し継続して産業誘導に関する情報提供等の支援を行う必要がある。</li> <li>・これまで全国から頂いた支援に対する御礼として、沿岸市町及び全国に向けて震災の教訓を伝承、発信する必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿岸市町の復興まちづくりについては、計画、制度、事業実施計画の作成などの支援を行ってきたところであり、復興まちづくりの完遂に向け、複数の事業が展開され関係機関との調整が多い重点支援地区の選定、残事業量や進捗状況の把握など柔軟な支援を継続する。</li> <li>・持続可能なまちづくりについては、「産業用地パンフレット」を活用し、県内外の企業等へ事業用地情報の提供など、市町の雇用確保の取組としての新市街地への新たな産業誘導を推進していく。また、賑わいの創出や交流人口拡大に関する全国及び地元での先進的な事例について「復興まちづくり事業勉強会」を通じて、先進的な取組みを紹介していく。</li> <li>・沿岸市町が進めてきたこれまでの取組について、「復興まちづくりパネル展」の開催や「(仮称)復興まちづくりの手順書(記録誌)」の作成など広く震災教訓の伝承・発信を行う。</li> </ul> |

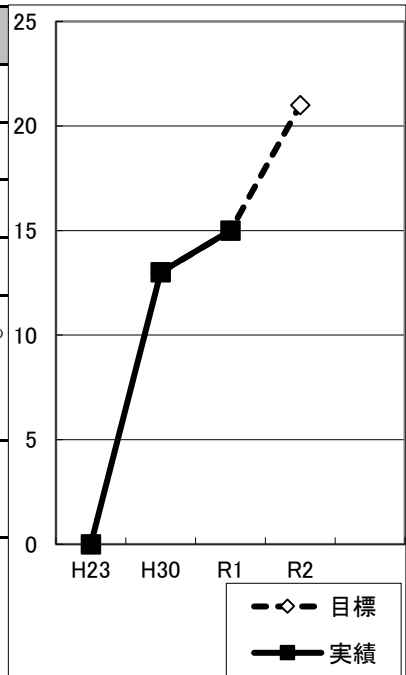
評価対象年度 令和1年度

政策 5 施策 4

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

| 1 | 目標指標等名<br>(下段:説明)                | 評価対象年度 | 初期値 | H30    | R1     | R2   | - |  |
|---|----------------------------------|--------|-----|--------|--------|------|---|--|
|   | 防災公園事業の完了数(箇所)[累計]<br>[ストック型の指標] | 指標測定年度 | H23 | H30    | R1     | R2   | - |  |
|   |                                  | 目標値    | -   | 13箇所   | 15箇所   | 21箇所 | - |  |
|   |                                  | 実績値    | 0箇所 | 13箇所   | 15箇所   | -    | - |  |
|   |                                  | 達成率    | -   | 100.0% | 100.0% | -    | - |  |

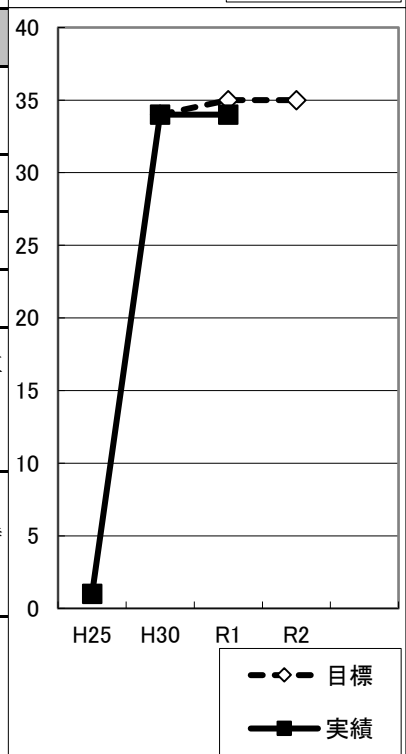


目標値の設定根拠  
 ・県や沿岸市町が津波浸水区域に復興交付金事業で整備する防災公園については、都市機能の中核となる重要な施設であり、防災機能を強化させることは、まちの再構築のために重要である。これらの事業は、復興交付金事業により実施されていることから、発展期における施策の具体的な進捗を的確に反映できる指標として、実際に完了している数を設定するもの。

実績値の分析  
 ・令和元年度末までに、15地区全箇所ですべて完了した。

全国平均値や近隣他県等との比較  
 -

| 2 | 目標指標等名<br>(下段:説明)                                    | 評価対象年度 | 初期値 | H30    | R1    | R2 | - |  |
|---|--|--------|-----|--------|-------|----|---|--|
|   | 住宅等建築が可能となった被災市街地復興土地区画整理事業地区数(地区)[累計]<br>[ストック型の指標] | 指標測定年度 | H25 | H30    | R1    | R2 | - |  |
|   |  | 目標値    | -   | 34     | 35    | 35 | - |  |
|   |  | 実績値    | 1   | 34     | 34    | -  | - |  |
|   |  | 達成率    | -   | 100.0% | 97.1% | -  | - |  |



目標値の設定根拠  
 ・平成25年度までは、目標指数を「工事着手地区数(事業認可地区数)」としていたが、達成率が90%となったため、事業進捗を明確にするために、「住宅等建築が可能となった地区数」に変更している。  
 ・各年度の目標値は、市町のまちづくりのスケジュールを勘案し設定している。

実績値の分析  
 ・地域住民との合意形成や関係機関との調整を図りながら事業を進めてきた結果、令和元年度までの実績値は34地区となり、達成率は97%となった。残り1地区については、令和元年度中に住宅等建築工事可能と鋭意事業を進めてきたが、関連工事との調整に不足の時間を要したことから、令和2年度中に住宅等建築工事可能となる予定である。

全国平均値や近隣他県等との比較  
 -

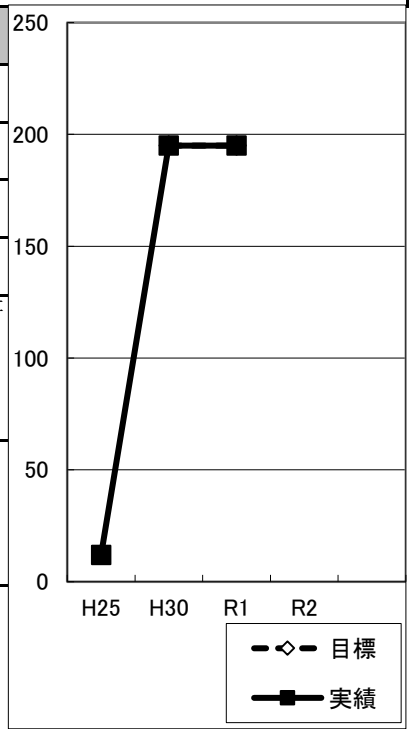
評価対象年度 令和1年度

政策 5 施策 4

**目標指標等の状況**

■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)

| 3               | 目標指標等名<br>(下段:説明)  | 評価対象年度 | 初期値            | H30               | R1                | R2 | - |   |
|-----------------|--|--------|----------------|-------------------|-------------------|----|---|---|
|                 | 住宅等建築が可能となった防災集団移転促進事業地区数(地区)[累計]<br>[ストック型の指標]<br>住宅等建築が可能となった地区とは、造成工事が完了する等、建築工事の準備が整った状態のことを示す | 指標測定年度 | H25            | H30               | R1                | R2 | - | - |
|                 |  | 目標値    | -              | 195地区<br>(100.0%) | 195地区<br>(100.0%) | -  | - | - |
|                 |  | 実績値    | 12地区<br>(6.2%) | 195地区<br>(100.0%) | 195地区<br>(100.0%) | -  | - | - |
|                 |  | 達成率    | -              | 100.0%            | 100.0%            | -  | - | - |
| 目標値の設定根拠        | ・被災者が、事業の進捗を把握できるよう目標を設定した。平成30年度までに、すべての事業実施地区において住宅等の建築が可能となることを目標とする。                           |        |                |                   |                   |    |   |   |
| 実績値の分析          | ・事業実施予定195地区のうち、195地区(100%)で住宅等の建築が可能になり、平成30年度末の目標値に達した。  |        |                |                   |                   |    |   |   |
| 全国平均値や近隣他県等との比較 | -  |        |                |                   |                   |    |   |   |



評価対象年度 令和1年度

政策 5 施策 4

| 県民意識調査結果         |                         |               |                         |       |                         |       |                       |       |       |
|------------------|-------------------------|---------------|-------------------------|-------|-------------------------|-------|-----------------------|-------|-------|
| 調査実施年度<br>(調査名称) |                         |               | 平成29年度<br>(平成29年県民意識調査) |       | 平成30年度<br>(平成30年県民意識調査) |       | 令和1年度<br>(令和1年県民意識調査) |       |       |
| 県<br>全<br>体      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要           | 高重視群<br>の割合             | 36.7% | 69.8%                   | 36.9% | 69.9%                 | 38.6% | 72.5% |
|                  |                         | やや重要          |                         | 33.1% |                         | 33.0% |                       | 33.9% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない | 低重視群<br>の割合             | 6.2%  | 7.8%                    | 6.7%  | 8.8%                  | 7.7%  | 9.6%  |
|                  |                         | 重要ではない        |                         | 1.6%  |                         | 2.1%  |                       | 1.9%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 22.4% |                         | 21.3% |                       | 17.9% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,807 |                         | 1,923 |                       | 1,817 |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足           | 満足群<br>の割合              | 7.7%  | 39.9%                   | 6.7%  | 39.6%                 | 9.1%  | 44.5% |
|                  |                         | やや満足          |                         | 32.2% |                         | 32.9% |                       | 35.4% |       |
|                  |                         | やや不満          | 不満群<br>の割合              | 16.0% | 21.5%                   | 15.7% | 20.1%                 | 14.3% | 19.2% |
|                  |                         | 不満            |                         | 5.5%  |                         | 4.4%  |                       | 4.9%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 38.6% |                         | 40.3% |                       | 36.4% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,786 |                         | 1,901 |                       | 1,786 |       |
| 沿<br>岸<br>部      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要           | 高重視群<br>の割合             | 40.5% | 74.9%                   | 38.7% | 72.8%                 | 42.7% | 76.3% |
|                  |                         | やや重要          |                         | 34.4% |                         | 34.1% |                       | 33.6% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない | 低重視群<br>の割合             | 4.8%  | 5.9%                    | 6.5%  | 8.0%                  | 7.3%  | 9.9%  |
|                  |                         | 重要ではない        |                         | 1.1%  |                         | 1.5%  |                       | 2.6%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 19.2% |                         | 19.1% |                       | 13.8% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 704   |                         | 718   |                       | 694   |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足           | 満足群<br>の割合              | 7.3%  | 41.9%                   | 6.3%  | 41.5%                 | 9.9%  | 46.3% |
|                  |                         | やや満足          |                         | 34.6% |                         | 35.2% |                       | 36.4% |       |
|                  |                         | やや不満          | 不満群<br>の割合              | 18.1% | 23.6%                   | 16.5% | 22.5%                 | 14.5% | 21.1% |
|                  |                         | 不満            |                         | 5.5%  |                         | 6.0%  |                       | 6.6%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 34.6% |                         | 36.0% |                       | 32.7% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 703   |                         | 714   |                       | 685   |       |
| 内<br>陸<br>部      | この<br>施策に<br>対する<br>重視度 | 重 要           | 高重視群<br>の割合             | 34.3% | 66.7%                   | 35.7% | 68.2%                 | 36.0% | 70.4% |
|                  |                         | やや重要          |                         | 32.4% |                         | 32.5% |                       | 34.4% |       |
|                  |                         | あまり重要で<br>はない | 低重視群<br>の割合             | 7.3%  | 9.2%                    | 6.7%  | 9.1%                  | 7.7%  | 9.1%  |
|                  |                         | 重要ではない        |                         | 1.9%  |                         | 2.4%  |                       | 1.4%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 24.2% |                         | 22.6% |                       | 20.5% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,062 |                         | 1,148 |                       | 1,077 |       |
|                  | この<br>施策に<br>対する<br>満足度 | 満 足           | 満足群<br>の割合              | 8.0%  | 38.5%                   | 6.8%  | 38.2%                 | 8.6%  | 43.2% |
|                  |                         | やや満足          |                         | 30.5% |                         | 31.4% |                       | 34.6% |       |
|                  |                         | やや不満          | 不満群<br>の割合              | 14.4% | 19.8%                   | 15.3% | 18.5%                 | 14.2% | 17.9% |
|                  |                         | 不満            |                         | 5.4%  |                         | 3.2%  |                       | 3.7%  |       |
|                  |                         | 分からない         |                         | 41.6% |                         | 43.3% |                       | 38.9% |       |
|                  |                         | 調査回答者数        |                         | 1,046 |                         | 1,132 |                       | 1,057 |       |

※ 沿岸部 : 沿岸15市町  
内陸部 : 沿岸部以外の市町村



|        |       |
|--------|-------|
| 評価対象年度 | 令和1年度 |
|--------|-------|

|    |   |    |   |
|----|---|----|---|
| 政策 | 5 | 施策 | 4 |
|----|---|----|---|

**宮城県震災復興推進事業**

| 評価番号 | 事業番号    | 事業名   | 令和1年度<br>決算見込額<br>(千円) | 事業の状況   |      |                |            |    |    |
|------|---------|---|------------------------|---|------|----------------|------------|----|----|
|      |         | 事業主体等   | 特記事項                   | 事業概要  |      | 令和1年度の実施状況・成果  |            |    |    |
| 1    | 1       | 津波防災緑地整備事業(松島公園)  | 36,568                 | 事業概要  |      | 令和1年度の実施状況・成果  |            |    |    |
|      |         | 松島公園内をスムーズに避難できるよう園内の広場や園路整備を行ってきたが、被災時に園内の電柱が倒壊し避難路を塞いでしまう恐れがあるため、事業期間を延長し公園内の無電柱化事業を実施する。 |                        | ・電柱の設置事業者等との協議が進み、地中化等による移転に着手し、グリーン広場以南のエリアについて無電柱化を完了した。  |      |                |            |    |    |
|      | 経済商工観光部 |   | 事業の分析結果                |   |      | 年度別決算(見込)額(千円) |            |    |    |
|      | 観光課     |   | ①必要性                   | ②有効性  | ③効率性 | 次年度の方向性        | H30        | R1 | R2 |
|      |         | 妥当  | ある程度成果があった             | 概ね効率的   | 維持   | -              | 36,568     | -  | -  |
| 2    | 2       | 道路改築事業  | 48,836,704             | 事業概要  |      | 令和1年度の実施状況・成果  |            |    |    |
|      |         | 防災道路ネットワークの構築及び、地域連携の強化を図る道路整備を行う。  |                        | ・国道113号(蔵本工区)、主要地方道気仙沼唐桑線(化粧坂工区)など、各道路改良事業において、用地補償や道路改良工事を推進した。<br>・主要地方道岩沼蔵王線(大師姥ヶ懐工区)は工事が完成し、令和元年12月21日に供用を開始した。<br>・主要地方道女川牡鹿線(小乗浜工区)は工事が進捗し、令和2年3月22日に本線部分が供用を開始した。<br>・国道398号(崎山工区)は工事が進捗し、令和2年1月21日にトンネルが貫通した。     |      |                |            |    |    |
|      | 土木部     | (5)①2 再掲  | 事業の分析結果                |   |      | 年度別決算(見込)額(千円) |            |    |    |
|      | 道路課     | ビジョン取組12  | ①必要性                   | ②有効性  | ③効率性 | 次年度の方向性        | H30        | R1 | R2 |
|      |         | 妥当  | 成果があった                 | 効率的   | 維持   | 23,457,260     | 48,836,704 | -  | -  |
| 3    | 3       | 広域道路ネットワーク整備事業  | 4,616,641              | 事業概要  |      | 令和1年度の実施状況・成果  |            |    |    |
|      |         | 高規格道路の計画に合わせたアクセス道路の整備や、産業拠点の形成及び地域連携を支援する広域道路ネットワークを整備する。                                  |                        | ・国道346号(錦織工区)は工事が完成し、令和2年3月7日に供用を開始した。<br>・主要地方道築館登米線((仮称)栗原IC)は、道路設計等を推進した。<br>・主要地方道仙台村田線((仮称)菅生SIC)は、令和2年度の工事着手に向け、用地補償等を推進した。<br>・一般県道大島浪板線(浪板工区)は浪板橋から(仮)大島IC区間の工事が完成し、供用を開始した。<br>・その他各道路改良事業について、調査設計や道路改良工事を推進した。 |      |                |            |    |    |
|      | 土木部     | (5)①2 再掲  | 事業の分析結果                |   |      | 年度別決算(見込)額(千円) |            |    |    |
|      | 道路課     | ビジョン取組12  | ①必要性                   | ②有効性  | ③効率性 | 次年度の方向性        | H30        | R1 | R2 |
|      |         | 妥当  | 成果があった                 | 効率的   | 維持   | 2,668,994      | 4,616,641  | -  | -  |
| 4    | 4       | 都市公園事業  | 55,249                 | 事業概要  |      | 令和1年度の実施状況・成果  |            |    |    |
|      |         | 公園施設の更新及び維持管理を行う。   |                        | 県総合運動公園及び加瀬沼公園における休止中の遊具についてレクリエーションの場の提供のために更新工事を実施した。   |      |                |            |    |    |
|      | 土木部     |   | 事業の分析結果                |   |      | 年度別決算(見込)額(千円) |            |    |    |
|      | 都市計画課   | ビジョン取組31  | ①必要性                   | ②有効性  | ③効率性 | 次年度の方向性        | H30        | R1 | R2 |
|      |         | 妥当  | 成果があった                 | 効率的   | 維持   | 45,386         | 55,249     | -  | -  |

|            |      |   |                        |         |         |  |         |                |   |  |  |
|------------|------|---|------------------------|---------|---------|--|---------|----------------|---|--|--|
| 5          | 5    | 津波防災緑地整備事業  | 202,914                | 事業概要    |         |  |         | 令和1年度の実施状況・成果  |   |  |  |
|            |      | 防災公園を整備する。  |                        |         |         | ・矢本海浜緑地において施設整備を進めた結果、平成31年4月に供用を開始した。   |         |                |   |  |  |
|            |      | 土木部   | ビジョン<br>取組31           | 事業の分析結果 |         |  |         | 年度別決算(見込)額(千円) |   |  |  |
| 都市計画課      | ①必要性 | ②有効性  |                        | ③効率性    | 次年度の方向性 | H30  | R1      | R2             | - |  |  |
|            |      | 妥当  | 成果があった                 | 効率的     | 廃止      | 535,271  | 202,914 | -              | - |  |  |
| 6          | 6    | 被災市街地復興土地区画整理事業   | -                      | 事業概要    |         |  |         | 令和1年度の実施状況・成果  |   |  |  |
|            |      | 東日本大震災の津波により被災した沿岸11市町の市街地について、被災市街地復興土地区画整理事業を実施する。  |                        |         |         | ・新たに2地区において換地処分を実施し、県内の換地処分地区数は19地区となった(全体の54%)。   |         |                |   |  |  |
|            |      | 土木部   | ビジョン<br>取組24           | 事業の分析結果 |         |  |         | 年度別決算(見込)額(千円) |   |  |  |
| 都市計画課      | ①必要性 | ②有効性  |                        | ③効率性    | 次年度の方向性 | H30  | R1      | R2             | - |  |  |
|            |      | 妥当  | ある程度成果があった             | -       | 維持      | -  | -       | -              | - |  |  |
| 7          | 7    | 市街地再開発事業  | 133,400                | 事業概要    |         |  |         | 令和1年度の実施状況・成果  |   |  |  |
|            |      | ・東日本大震災の津波により被災した沿岸3市町の市街地について、市街地再開発事業を実施する(復興)。<br>・2市2地区について、市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る(通常)。 |                        |         |         | ・大崎市古川七日町西地区において、工事に着手し、これに係る経費の一部について県費補助を実施した。   |         |                |   |  |  |
|            |      | 土木部   | ビジョン<br>取組24           | 事業の分析結果 |         |  |         | 年度別決算(見込)額(千円) |   |  |  |
| 都市計画課      | ①必要性 | ②有効性  |                        | ③効率性    | 次年度の方向性 | H30  | R1      | R2             | - |  |  |
|            |      | 概ね妥当  | 成果があった                 | -       | 維持      | 40,400   | 133,400 | -              | - |  |  |
| 8          | 8    | 津波復興拠点整備事業  | -                      | 事業概要    |         |  |         | 令和1年度の実施状況・成果  |   |  |  |
|            |      | 東日本大震災の津波により被災した沿岸8市町において、津波復興拠点整備事業を実施する。  |                        |         |         | ・新たに3地区において事業が完了し、県内の事業完了地区数は10地区となった(全体の83%)。   |         |                |   |  |  |
|            |      | 土木部   | -                      | 事業の分析結果 |         |  |         | 年度別決算(見込)額(千円) |   |  |  |
| 都市計画課      | ①必要性 | ②有効性  |                        | ③効率性    | 次年度の方向性 | H30  | R1      | R2             | - |  |  |
|            |      | 妥当  | 成果があった                 | -       | 維持      | -  | -       | -              | - |  |  |
| 9          | 9    | 被災市町復興まちづくりフォローアップ事業  | 20,445                 | 事業概要    |         |  |         | 令和1年度の実施状況・成果  |   |  |  |
|            |      | 被災した沿岸市町の復興まちづくり事業の支援及びまちづくり検証業務を行う。  |                        |         |         | ・市町の復興交付金事業計画の策定、採択に向け、国との調整や勉強会(1回)を実施。<br>・出前講座(全7回)の他、県内及び県外4県で復興まちづくりパネル展(全7回)を開催。<br>・復興まちづくり事業の検証の視点、項目を整理し検証を行う上での基礎的なデータを収集。<br>・復興期間の終了に伴い令和3年度以降の方向性としては廃止とする。 |         |                |   |  |  |
|            |      | 土木部   | ビジョン<br>取組24<br>地創4(1) | 事業の分析結果 |         |  |         | 年度別決算(見込)額(千円) |   |  |  |
| 復興まちづくり推進室 | ①必要性 | ②有効性  |                        | ③効率性    | 次年度の方向性 | H30  | R1      | R2             | - |  |  |
|            |      | 妥当  | ある程度成果があった             | 概ね効率的   | 廃止      | 19,753   | 20,445  | -              | - |  |  |

| 10              | 11 | 被災者生活支援事業(路線バス)     | 155,395                            | 事業概要                                 |        |      |         | 令和1年度の実施状況・成果  |           |    |   |
|-----------------|----|---------------------|------------------------------------|--------------------------------------|--------|------|---------|--|-----------|----|---|
|                 |    |                     |                                    | バス事業者及び住民バス運行する市町村に対し、運行費補助による支援を行う。 |        |      |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>バス事業者運行費補助 国庫協調 14系統(通常6, 被災地8)</li> <li>バス車両取得費補助 18台(新規5, 継続13)</li> <li>住民バス運行費補助 311系統(24市町)</li> </ul> |           |    |   |
| 10              | 11 | 震災復興・企画部<br>総合交通対策課 | (1)①1 再掲<br>ビジョン<br>取組24<br>地創4(2) | 事業の分析結果                              |        |      |         | 年度別決算(見込)額(千円)   |           |    |   |
|                 |    |                     |                                    | ①必要性                                 | ②有効性   | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30  | R1        | R2 | - |
|                 |    |                     |                                    | 妥当                                   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 142,391  | 155,395   | -  | - |
| 11              | 12 | 広域防災拠点整備事業(宮城野原公園)  | 2,751,690                          | 事業概要                                 |        |      |         | 令和1年度の実施状況・成果  |           |    |   |
|                 |    |                     |                                    | 広域防災拠点の機能を有する都市公園を整備する。              |        |      |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>公園整備の前提となる岩切地区貨物駅移転に必要な進入路等の補償契約を締結した。</li> <li>宮城野原地区において、詳細設計に向け、庁内関係課と施設規模等の調整を実施した。</li> </ul>          |           |    |   |
| 11              | 12 | 土木部<br>都市計画課        | (7)①2 再掲<br>ビジョン<br>取組31<br>地創4(4) | 事業の分析結果                              |        |      |         | 年度別決算(見込)額(千円)   |           |    |   |
|                 |    |                     |                                    | ①必要性                                 | ②有効性   | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30  | R1        | R2 | - |
|                 |    |                     |                                    | 妥当                                   | 成果があった | 効率的  | 維持      | 2,461,611  | 2,751,690 | -  | - |
| 12              | 13 | 震災復興祈念公園整備事業        | 601,596                            | 事業概要                                 |        |      |         | 令和1年度の実施状況・成果  |           |    |   |
|                 |    |                     |                                    | 震災復興祈念公園を整備するとともに、公園内の伝承施設を整備する。     |        |      |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との調整を進め全ての施設整備工事を発注し、令和2年度の供用開始に向けて事業を推進した。</li> </ul>  |           |    |   |
| 12              | 13 | 土木部<br>都市計画課        | ビジョン<br>取組31                       | 事業の分析結果                              |        |      |         | 年度別決算(見込)額(千円)   |           |    |   |
|                 |    |                     |                                    | ①必要性                                 | ②有効性   | ③効率性 | 次年度の方向性 | H30  | R1        | R2 | - |
|                 |    |                     |                                    | 妥当                                   | 成果があった | 効率的  | 廃止      | 462,987  | 601,596   | -  | - |
| 決算(見込)額計        |    |                     | 57,410,602                         |                                      |        |      |         |  |           |    |   |
| 決算(見込)額計(再掲分除き) |    |                     | 1,050,172                          |                                      |        |      |         |  |           |    |   |

